

第2期 三浦市子ども・子育て支援事業計画 (素案)

計画期間：令和2年（2020）年度～令和6年（2024）年度

令和2年3月

三浦市

目 次

第1章 計画の概要

- 1 計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画の性格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第2章 計画の基本的な考え方

- 1 基本理念と3つの基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 教育・保育提供区域・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

第3章 三浦市の子ども・子育ての現状

- 1 少子化の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2 三浦市の子どもと子育て家庭を取り巻く状況・・・・・・・・ 12
 - 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査報告書（未就学児）・・・・ 13
 - 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査報告書（小学生）・・・・ 100

第4章 量の見込みと確保方策

- 1 施設・事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 153
- 2 保育利用率の目標値・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 153
- 3 量の見込みと確保方策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 156

第5章 行動計画

- 1 地域における子育ての支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 163
- 2 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進・・・・ 165
- 3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境づくり・・・・ 170
- 4 子育てを支援する生活環境づくり・・・・・・・・・・・・・・・・ 173
- 5 職業生活と家庭生活の両立の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 173
- 6 子どもの安全の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 174
- 7 要保護児童への対応等きめ細やかな取組の推進・・・・ 174

第6章 計画の推進体制

- 1 子ども・子育て支援事業計画の推進・・・・・・・・・・・・ 177
- 2 子ども・子育て支援事業計画の進行管理・・・・・・・・・・・・ 177

第1章 計画の概要

1 計画の趣旨

(1) 計画の趣旨

子ども・子育て支援事業計画は、地域のニーズを把握し、本市の子ども・子育て施策に関する基本理念や各施策の目標・方向性などを定め、乳幼児期の保育・教育の充実や地域における子育て支援、母子の健康の確保及び増進、児童虐待防止対策の充実など、妊娠期から出産、子育て期まで切れ目のない支援を推進することを目的とします。

(2) 計画の経過

国は平成24年(2012年)8月に「子ども・子育て支援法」をはじめとする子ども・子育て関連3法を成立させ、市町村は、幼児期におけるより質の高い教育・保育の提供及び、地域子ども・子育て支援事業の充実を図るため、平成27年度(2015年度)から5年を1期とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」を策定し、令和元年度(2019年度)に見直すこととされました。

2 計画の性格

(1) 計画の法的根拠

この計画は、「子ども・子育て支援法」の第2条の基本理念と、同法第61条に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画であり、同第77条第1項を根拠に設置している「子ども・子育て会議」において、委員の意見を聴取し、策定、及び進行管理を行います。

(2) 他計画との整合性

この計画は「人・まち・自然の鼓動を感じる都市 みうら」という2025年の将来都市像を掲げた「第4次三浦市総合計画」を念頭に置きながら、「三浦市地域福祉計画」等の諸計画との整合性をもつものです。また、「三浦市次世代育成支援後期行動計画」の後継としても位置付けられております。

3 計画の期間

この計画は、令和元年度(2019年度)中に計画の見直しを行い、令和2年度(2020年度)を初年度とし、令和6年度(2024年度)までの5年間を計画の期間とします。なお、子ども・子育て支援事業計画に基づく施策の進捗状況と成果についての検証を行う進行管理については、各年度に「三浦市子ども・子育て会議」にて点検・評価を行います。

第2章 計画の基本的な考え方

1 基本理念と3つの基本方針

(1) 基本理念

本計画の前期計画である三浦市子ども・子育て支援事業計画は、子ども・子育て支援法及び次世代育成支援対策推進法に基づく計画として、地域の実情に応じた子育て支援の取組みを実施するために策定されました。

第二期となる本計画では、前期計画の基本理念、基本方針を継承し、引き続き、子育て支援の取組みを実施していきます。

また、基本理念を、前期計画において掲げた「子どもと家族とみんなが楽しく元気にすごせるまち みうら」とし、今後も引き続き進行管理を行ってまいります。

(2) 3つの基本方針

前期計画においては、基本理念実現に向けて3つの基本方針を掲げました。基本理念同様、基本方針についても前期計画を踏襲し、継続して進行管理を行い、子育て支援への取組みを進めてまいります。

① 家庭における子育てを基本とし、その家庭に寄り添い、支援していきます。

子どもたちにとって、生活の基本となる場所は家庭です。また、子どもたちの健やかな成長に最も重要な役割を担うのも家庭です。子どもたちは、親や家族からのあたたかい愛情に育まれながら、家庭における生活の中で、基本的な生活習慣や倫理観、社会的規範を学び、身に付けていきます。

この計画では、共働き家庭やひとり親家庭だけではなく、子育てをしているすべての「家庭」の子育て力、教育力を支え、高めていく取組みを進めます。

② 地域みんなで子どもたちの成長をあたたかく見守り、支えていきます。

子育てにおいて最も重要な役割を担うのは家庭です。しかし、家庭における養育機能の低下や子どもを取り巻く環境が大きく変化してきている今日、単に子育てを個人や家庭でのみで解決されるべきものとするには大変厳しい状況があります。

この計画では、次代の親となる子どもたちや子育て家庭を地域社会全体で見守り、支援していくための、地域の実情や特性を踏まえてその人的・物的資源を活用した施策と住民の主体的な取組みを進めます。

③ 次代を担う子どもたちの幸せを第一に考え、尊重していきます。

近年、子どもが被害者となる犯罪や事故、あるいは養育放棄を含めた児童虐待やいじめなど、子どもの心身に深刻な影響を与え、子どもの人権を侵害する問題が多く現れるようになってきています。

この計画では、子どもたちの人権を守り、すべての子どもと子育て家庭を支援する体制や環境の整備を進めます。

(3) 基本的考え方体系図

基本理念

～子どもと家族とみんなが楽しく元気にすごせるまち みうら～

3つの基本方針

(1) 家庭における子育てを基本とし、その家庭に寄り添い、支援していきます。

(2) 地域みんなで子どもたちの成長をあたたかく見守り、支えていきます。

(3) 次代を担う子どもたちの幸せを第一に考え、尊重していきます。

7つの取り組み

- 1 地域における子育ての支援
- 2 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進
- 3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境づくり
- 4 子育てを支援する生活環境づくり
- 5 職業生活と家庭生活の両立の推進
- 6 子どもへの安全の確保
- 7 要保護児童への対応等きめ細かな取組の推進

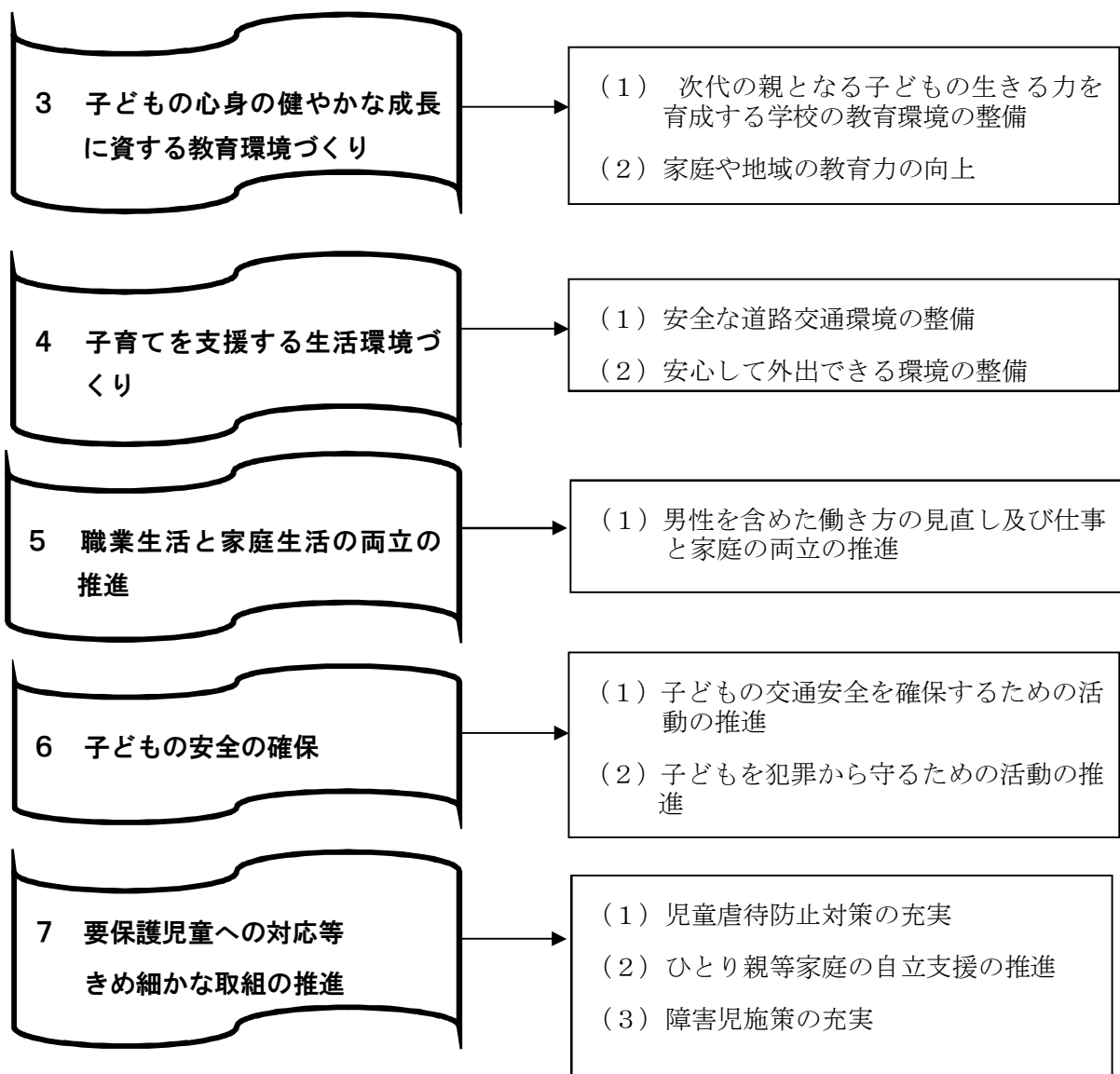
7つの取り組み

1 地域における子育ての支援

- (1) 地域における子育て支援サービスの充実及びネットワークづくり
- (2) 保育サービスの充実
- (3) 児童の健全育成
- (4) 子育てに伴う経済的負担の軽減

2 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進

- (1) 子どもや母親の健康の確保
- (2) 食育の推進
- (3) 思春期保健対策の充実



2 教育・保育提供区域

平成 27 年度にスタートした子ども・子育て新制度において、市町村は、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、現在の教育・保育の利用状況、教育・保育を提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して、地域の実情に応じて、保護者や子どもが居宅より容易に移動することが可能な区域（教育・保育提供区域）を定める必要があるとされています。

前期計画においては、地理的状況や施設の状況、現在の保育所・幼稚園等の利用状況を勘案し、細かな区域分けをせず、市全体を一つの区域と考えていくのが適当であると判断し、教育・保育提供区域を、市全域として設定しました。本計画においても、教育・保育提供区域については、各施設・事業の実情を踏まえ、前期計画の考え方を踏襲し、市全体を一つの区域として設定します。

第3章 三浦市の子ども・子育ての現状

1 少子化の状況

(1) 人口年齢構成

平成31年1月1日現在、三浦市の高齢化率は、県下19市中、一番高くなっており
ます。町村を含めても、湯河原町、真鶴町に次いで、3番目の高さとなっております。

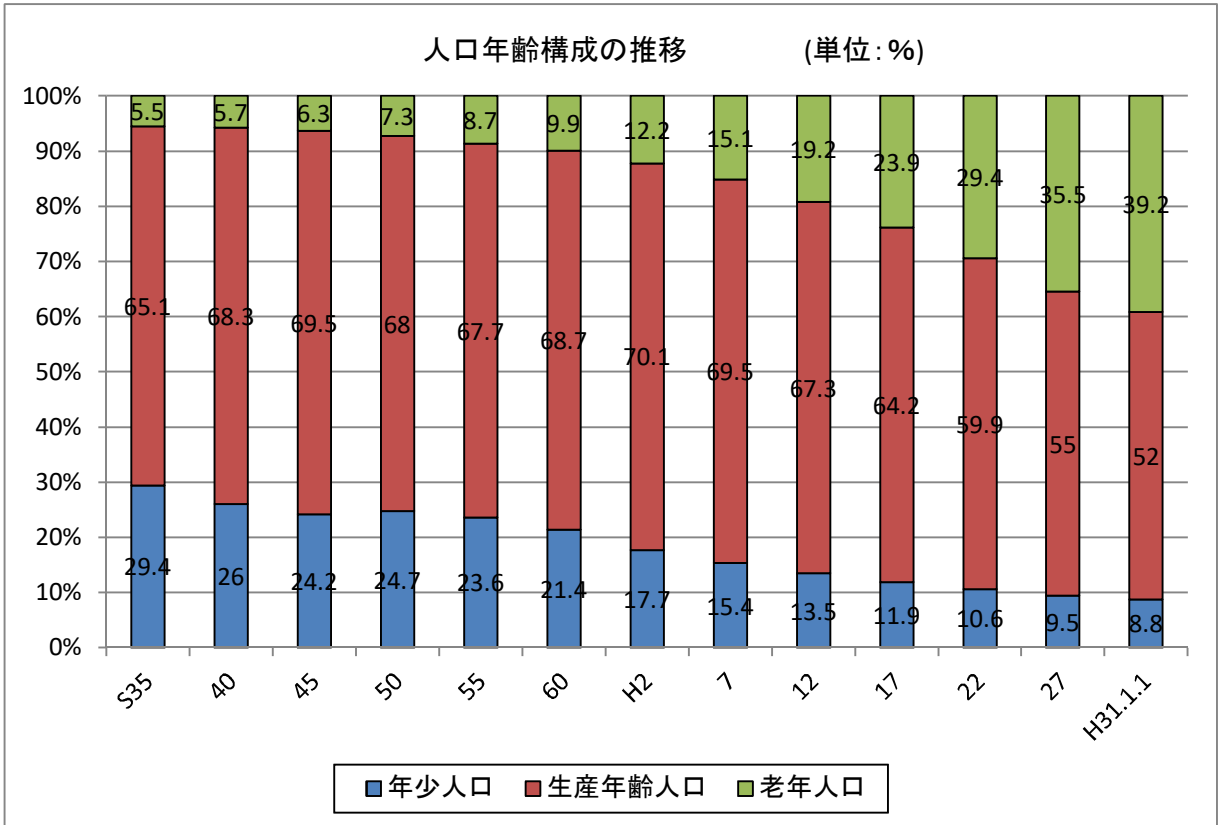
【三浦市の人口年齢構成の推移】

各年10月1日現在

年次別	人口総数	年少人口		生産年齢人口		老年人口		不詳
		0～14 歳	構成比 (%)	15～64 歳	構成比 (%)	65歳以 上	構成比 (%)	
昭和 35 年	39,811	11,721	29.4	25,904	65.1	2,186	5.5	—
40	42,601	11,083	26.0	29,076	68.3	2,442	5.7	—
45	45,532	10,993	24.2	31,664	69.5	2,875	6.3	—
50	47,888	11,822	24.7	32,579	68.0	3,487	7.3	—
55	48,687	11,506	23.6	32,960	67.7	4,212	8.7	9
60	50,471	10,796	21.4	34,693	68.7	4,982	9.9	—
平成 2 年	52,440	9,278	17.7	36,780	70.1	6,381	12.2	1
7	54,152	8,324	15.4	37,633	69.5	8,191	15.1	4
12	52,253	7,054	13.5	35,151	67.3	10,030	19.2	18
17	49,861	5,915	11.9	32,032	64.2	11,903	23.9	11
22	48,352	5,132	10.6	28,953	59.9	14,238	29.4	29
27	45,289	4,301	9.5	24,885	55.0	16,081	35.5	22
(参考) 平成 31. 1. 1	43,042	3,776	8.8	22,368	52.0	16,876	39.2	22

資料：国勢調査・H31. 1. 1は神奈川県年齢別人口統計調査

※高齢化率とは、65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合



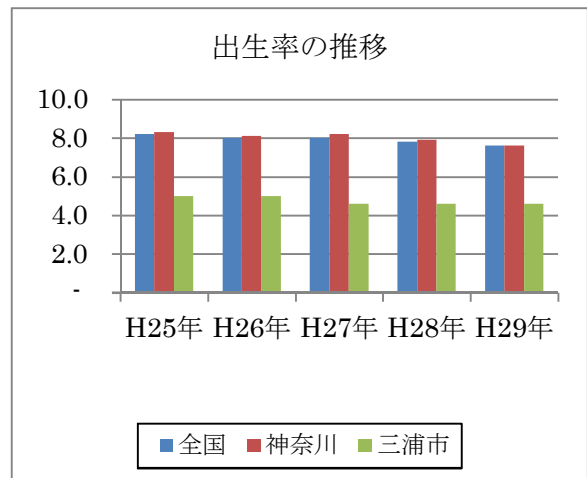
(2) 出生率及び出生数

人口千人に対する出生数の割合を示す出生数において、三浦市では、平成 24 年に初めて 5.0 を下回り、平成 29 年まで横ばいの状況となっております。これは、全国、神奈川県と比較しても非常に低い割合となっております。

【三浦市の出生率及び出生数の推移】

年次	全国	神奈川	三浦市	出生数
H25年	8.2	8.3	5.0	233
H26年	8.0	8.1	5.0	229
H27年	8.0	8.2	4.6	210
H28年	7.8	7.9	4.6	207
H29年	7.6	7.6	4.6	200

資料：神奈川県衛生統計年報



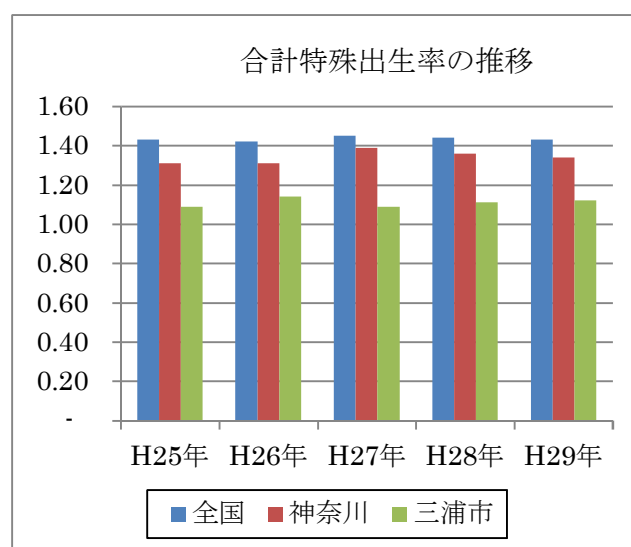
(3) 合計特殊出生率

1人の女性が一生の間に産む子供の数を示す合計特殊出生率についても、三浦市は、全国、神奈川県と比較しても低い傾向にあります。平成24年(2012年)には、1.0を切っていますが、平成25年(2013年)以降は若干回復し、横ばいの状況となっています。

【三浦市の合計特殊出生率の推移】

年次	全国	神奈川県	三浦市
H25年	1.43	1.31	1.09
H26年	1.42	1.31	1.14
H27年	1.45	1.39	1.09
H28年	1.44	1.36	1.11
H29年	1.43	1.34	1.12

資料：神奈川県衛生統計年報

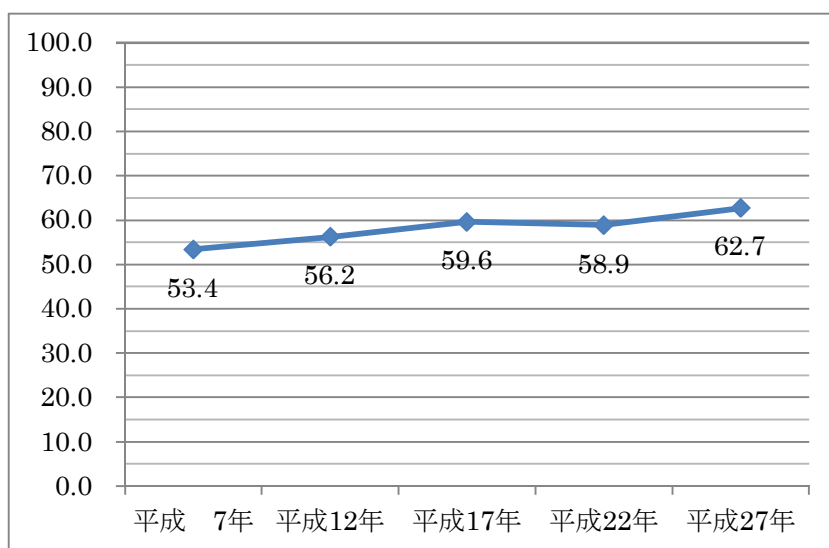


(4) 20歳から39歳までの未婚率の推移

20歳から39歳までの未婚率の推移をみると、全ての年齢で増加しています。全体で見ると平成17年(2005年)から平成22年(2010年)では、若干減少していますが、平成22年(2010年)から平成27年(2015年)に増加に転じています。

年次	未婚率 (%)
平成7年	53.4
平成12年	56.2
平成17年	59.6
平成22年	58.9
平成27年	62.7

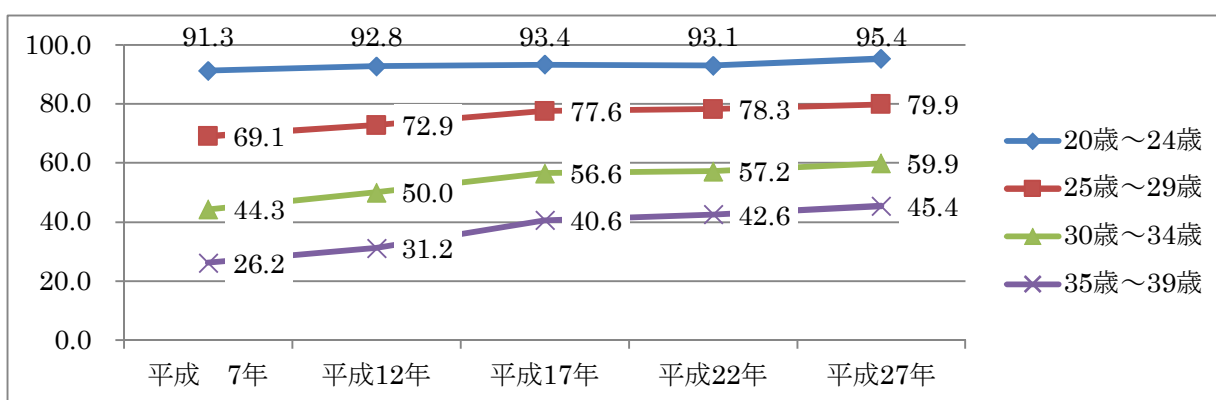
資料：国勢調査



【男性】

年次	年齢別未婚率(%)			
	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳
平成7年	91.3	69.1	44.3	26.2
平成12年	92.8	72.9	50.0	31.2
平成17年	93.4	77.6	56.6	40.6
平成22年	93.1	78.3	57.2	42.6
平成27年	95.4	79.9	59.9	45.4

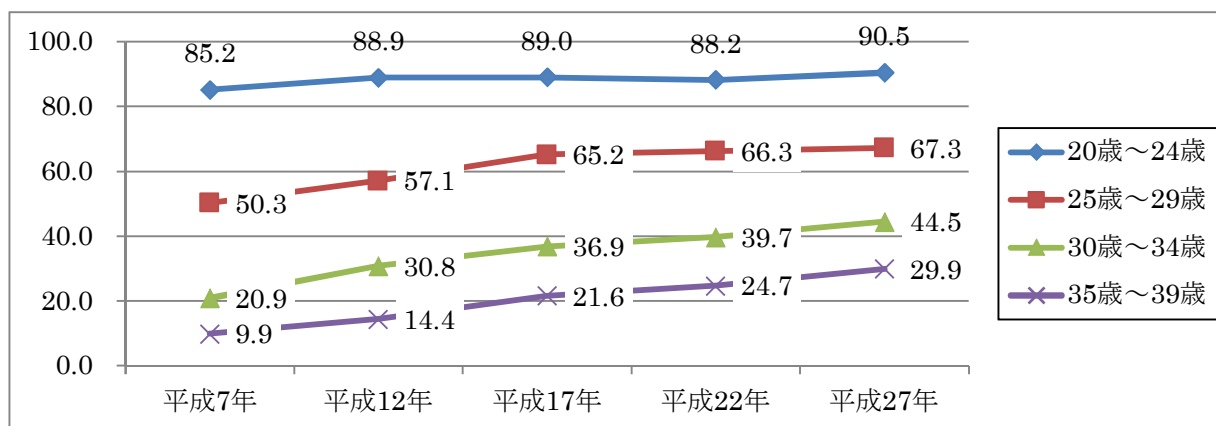
資料：国勢調査



【女性】

年次	年齢別未婚率(%)			
	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳
平成7年	85.2	50.3	20.9	9.9
平成12年	88.9	57.1	30.8	14.4
平成17年	89.0	65.2	36.9	21.6
平成22年	88.2	66.3	39.7	24.7
平成27年	90.5	67.3	44.5	29.9

資料：国勢調査



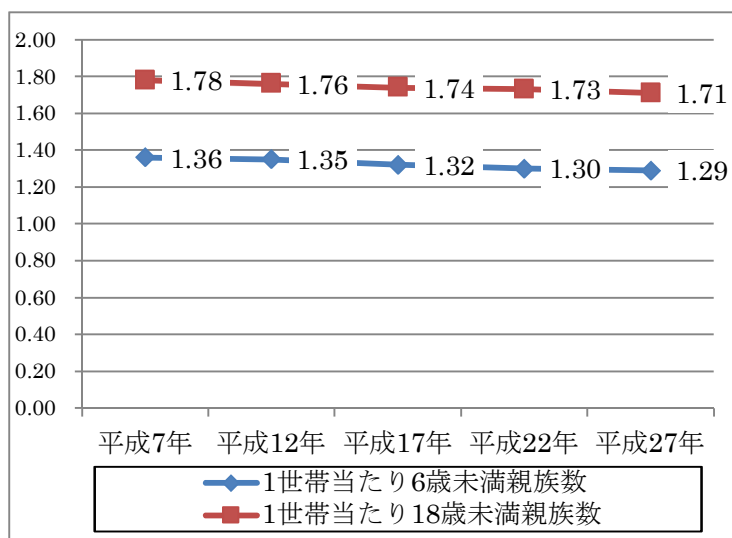
(5) 一世帯当たりの子ども数の推移

一世帯当たりの6歳未満の子供の数及び18歳未満の子供の数の推移をみると、平成7年(1995年)以降減少傾向となっております。

【1世帯当たりの子ども数の推移】

年次	1世帯当たり6歳未満親族数	1世帯当たり18歳未満親族数
平成7年	1.36	1.78
平成12年	1.35	1.76
平成17年	1.32	1.74
平成22年	1.30	1.73
平成27年	1.29	1.71

資料：国勢調査



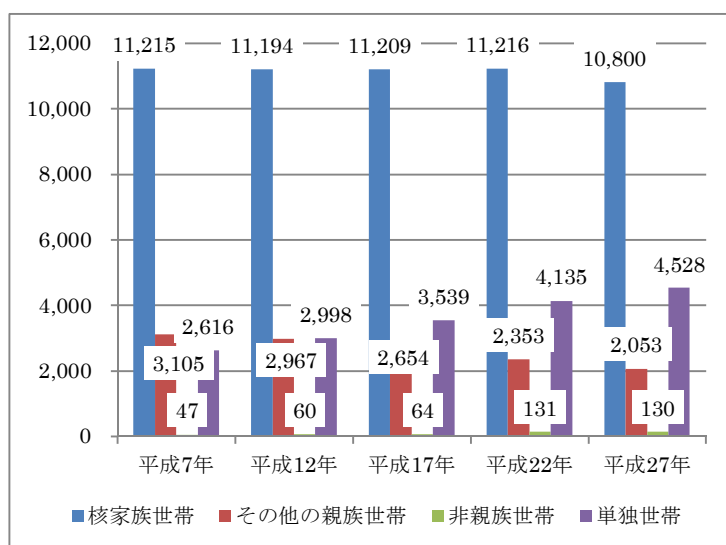
(6) 家族類型別一般世帯数の推移

家族類型別一般世帯数の推移をみると、核家族は平成7年(1995年)まで増加しましたが、その後は横ばいとなり、平成27年には減少しております。一方単独世帯は平成7年(1995年)から、平成27年(2015年)までの20年間で、2倍近い増加となっております。

【家族類型別一般世帯数の推移】

年次	核家族世帯	その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯
平成7年	11,215	3,105	47	2,616
平成12年	11,194	2,967	60	2,998
平成17年	11,209	2,654	64	3,539
平成22年	11,216	2,353	131	4,135
平成27年	10,800	2,053	130	4,528

資料：国勢調査

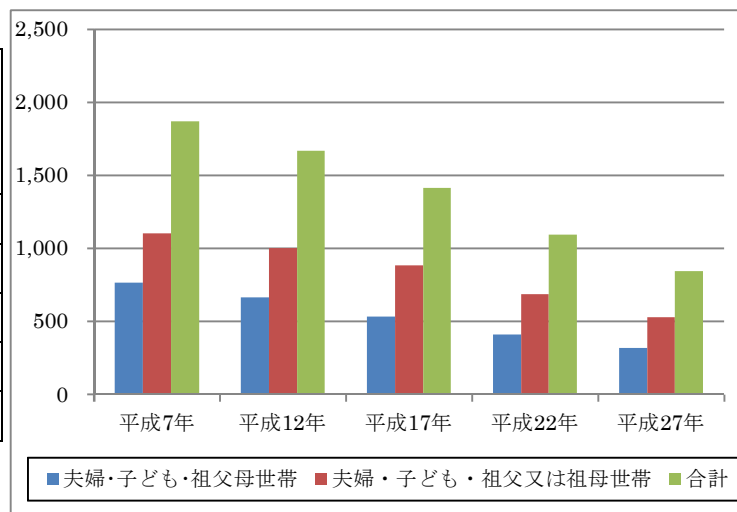


(7) 祖父・祖母と同居をしている世帯数の推移

祖父・祖母と同居をしている世帯数の推移を見ると、祖父母または祖父もしくは祖母と同居している世帯数は、徐々に減少しており、平成7年(1995年)から、平成27年(2015年)までの20年間で、半分以下に減少しております。

年次	夫婦・子ども・ 祖父母世帯	夫婦・子ども・ 祖父又は祖 母世帯	合計
平成7年	765	1,102	1,867
平成12年	665	1,002	1,667
平成17年	532	882	1,414
平成22年	407	686	1,093
平成27年	315	528	843

資料：国勢調査

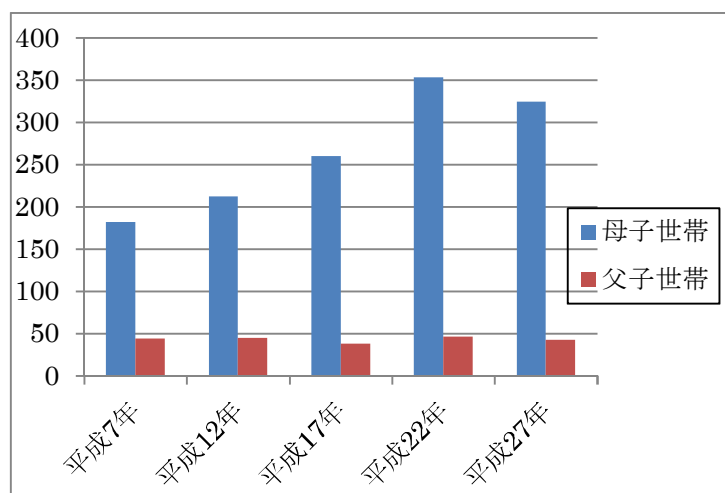


(8) 母子・父子世帯数の推移

母子・父子世帯の推移を見てみると、父子世帯においては、平成17年(2005年)に若干の減少が見られましたが、ほぼ横ばいとなっています。母子世帯においては、平成7年(1995年)以降増加傾向が続いておりましたが、平成27年(2015年)には減少に転じています。

年次	母子世帯	父子世帯
平成7年	182	44
平成12年	212	45
平成17年	260	38
平成22年	353	46
平成27年	324	42

資料：国勢調査



(9) 女性の就業率の推移

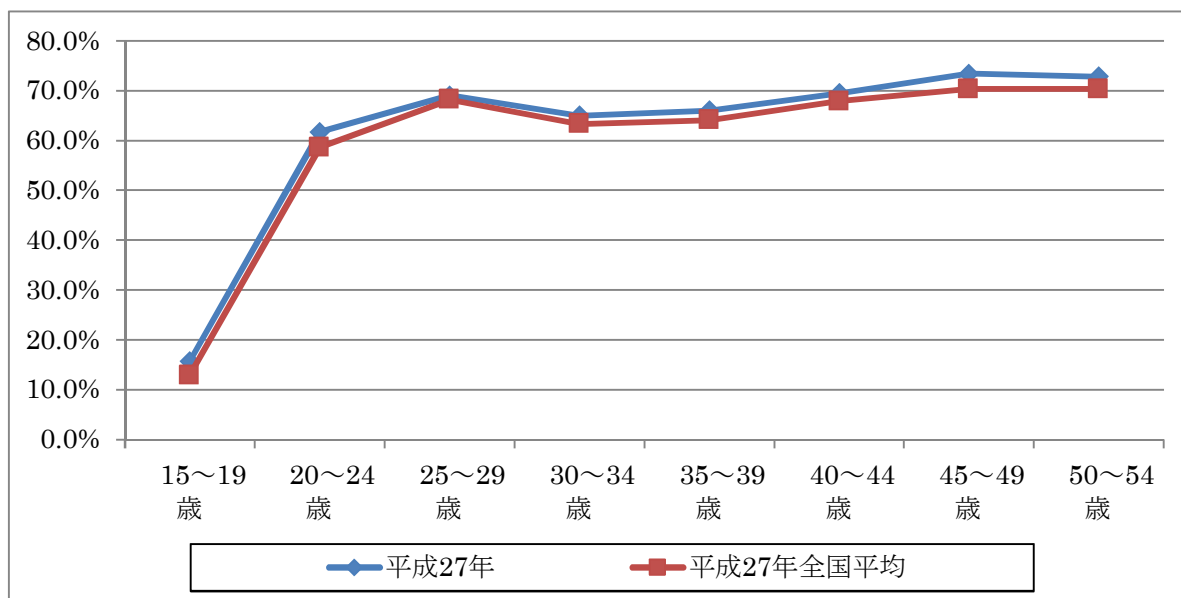
女性の年齢別による就業率の推移は、いずれも30歳代前半で一度落ち込み、その後40歳代後半までは、再度上昇する傾向となっております。

平成27年(2015年)における三浦市の女性の就業率は、全年齢階層において、全国平均を上回っております。

区分	平成17年	平成22年	平成27年	平成27年 全国平均
15～19歳	19.4%	16.2%	15.7%	12.9%
20～24歳	65.8%	62.4%	61.7%	58.6%
25～29歳	69.7%	69.2%	69.0%	68.2%
30～34歳	59.7%	59.9%	65.0%	63.3%
35～39歳	62.4%	60.2%	66.0%	64.1%
40～44歳	72.2%	65.9%	69.5%	67.9%
45～49歳	69.4%	71.7%	73.4%	70.3%
50～54歳	66.7%	68.5%	72.8%	70.3%
55～59歳	61.2%	60.8%	66.6%	65.0%

資料：国勢調査

【平成27年の三浦市の女性の就業率と全国平均の比較】



2 三浦市の子どもと子育て家庭を取り巻く状況

(1) 三浦市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査の概要

今回、この三浦市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、市民の子育ての現状やニーズ、意見を把握し、それを踏まえたものとなるよう、その基礎となる調査を行いました。

① 調査の目的

本調査は、令和元年度に策定する「三浦市子ども・子育て支援事業計画」の資料として、教育・保育・子育て支援の利用状況及び、必要量（ニーズ）、意見を把握するための調査として実施しました。

② 調査対象

三浦市在住の就学前児童から小学4年生までの児童を持つ世帯。

③ 調査方法

- ア 抽出方法 対象世帯全世帯（住民基本台帳から無作為抽出）
- イ 抽出件数 1,500件
- ウ 調査票の配布・回収方法 郵送配布・郵送回収
- エ 調査実施時期 平成30年12月21日から平成31年1月11日まで。
*ただし1月25日までの到着分については集計対象としました。

④ 回収状況

- ア 配布数 1,500件
- イ 回収数 699件
- ウ 回収率 46.6%
- エ 有効回答数 699件

子ども・子育て支援事業計画二一ズ調査等業務委託

未就学児調査

報告書

平成 31 年 3 月

三浦市

目次

調査の概要	15
調査結果総括	16
お住まいの地域について	21
お子さんご家族の状況について	21
子どもの育ちをめぐる環境について	23
保護者の就労状況について	30
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	39
地域の子育て支援事業の利用状況について	49
土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	53
お子さんの病気の際の対応について	59
不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	64
小学校就学後の放課後の過ごし方について	69
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	79
現状での子育て環境の満足度について	87
子育てにかかる費用等について	96

調査の概要

1 調査の目的

次期三浦市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、子育てをされているご家庭の現状とニーズを把握するため、「現在の利用状況」及び「今後の利用希望」等について、アンケート調査を実施しました。

2 調査の種類

- (1) 未就学児童の保育等に関する現状及び保護者ニーズ調査
- (2) 小学生の放課後等に関する現状及び保護者ニーズ調査

3 抽出方法・抽出（発送）数

住民基本台帳から無作為抽出（世帯重複がないよう抽出）

- (1) 未就学児童調査 1,017 人
 - (2) 小学生調査 483 人
- （未就学児童がいる家庭を除いて小学校1年生から4年生の中から抽出）
- 合計 1,500 人

4 調査実施時期

- 平成30年12月21日 対象者あて発送
- 平成31年1月11日 調査回答期限

5 調査回収状況

- (1) 未就学児童調査 回収数 493 人（回収率 48.5%）
 - (2) 小学生調査 回収数 206 人（回収率 42.7%）
- 合計 回収数 699 人（回収率 46.6%）

本報告書の見方について

- ・ 図（グラフ）の中で使用されているアルファベットの意味は次のとおり。
 - SA：単一回答（シングルアンサー）の設問
 - MA：複数回答（マルチアンサー）の設問
 - n：その設問に対する回答者数
- ・ 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答や選択肢の数が多い質問については、見やすさを考慮しグラフではなく表を掲載しているが、クロス集計表は、属性別にみて、全体の数値と比べて5ポイント以上数値が高い項目については、グレーの塗りつぶしで、太字で表示、10ポイント以上数値が高い項目については、黒の塗り潰しで、白抜き文字で表示している。
- ・ 図表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

調査結果総括

1. お子さんと家族の状況	
主な 質問 項目	<ul style="list-style-type: none"> ・対象のお子さんの年齢について ・母親、父親の就労状況について ・パート・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換希望について ・非就労者の就労希望について
現状	<p>◇共稼ぎの家庭は5割強、専業主婦・主夫が4割弱。子育て（教育を含む）を主に行っているのは「父母ともに」が6割台半ば。</p> <p>◇母親の就労状況は、フルタイム（産休・育休・介護休業中を含む）、パート・アルバイト等とともに3割近く、以前は就労していたが、現在は就労していないは4割弱となっている。</p> <p>◇パート・アルバイト等の半数近くはパート・アルバイト等の継続を希望しており、フルタイムへの転換希望は3割弱だが、実現見込があるのは4%程度である。</p> <p>◇非就業者のうち就労希望を持っているのは6割台半ば。すぐにでも就職したい人のうちパート・アルバイト等を希望しているのは7割台半ばである。</p> <p>◇母親の就労希望時期は、一番下の子が3～4歳が5割台半ば、6～7歳が2割台半ば。</p>
課題	<p>◇子育てに父親が参加している家庭が6割台半ばみられる一方、主に母親という家庭も3割みられる。</p> <p>◇非就業の母親の就労ニーズは6割台半ばと高いが、その7割台半ばがパート・アルバイト希望、2割台半ばがフルタイム希望、これらの希望に対応する子育て支援の充実が求められる。</p>

2. 子どもの育ちをめぐる環境	
主な 質問 項目	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人について ・子育て（教育を含む）にもっとも影響すると思われる環境について ・子どもをみてもらえる親族や知人の有無について ・子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人の有無や相談先について
現状	<p>◇子育て（教育を含む）にもっとも影響すると思われる環境は、「家庭」が9割以上を占め、「家庭」の大切さが認識されている。</p> <p>◇日常的に祖父母等の親族に子どもをみてもらえる家庭は4割弱、緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に子どもをみてもらえる家庭は5割台半ば。</p> <p>◇日常的に友人・知人に子どもをみてもらえる家庭は3%、緊急時もしくは用事の際には友人・知人に子どもをみてもらえる家庭は1割強である。</p> <p>◇子どもをみてもらえる親族も友人・知人もいない家庭は1割弱である。</p> <p>◇子育てについて気軽に相談できる人については、9割強は「いる／ある」としており、相談先は「祖父母等の親族」と「友人や知人」がそれぞれ8割前後と多く、「保育士」が2割強である。</p>
課題	<p>◇日常的に子どもをみてもらえる家庭は4割、子どもをみてもらえない家庭は1割弱、半数以上が緊急時にしかみてもらえない環境にあることから、親族や友人・知人以外の支援を受けやすくする必要がある。</p> <p>◇気軽に相談できる人は友人・知人、親族が中心であり、近所の人や専門的機関を挙げる人は少ない。専門知識やアドバイスを気軽に受けられる環境整備が必要である。</p>

3. 定期的な教育・保育事業（幼稚園、保育所等）の利用	
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な教育・保育事業（幼稚園、保育所等）の利用の有無について（現在の利用状況、利用場所、利用している理由、利用していない理由） 今後、定期的にご利用したい教育・保育事業（幼稚園、保育所等）について 土曜日・日曜日・祝日に定期的にご利用したい教育・保育事業（幼稚園・保育所等）について 幼稚園利用者に対する長期休暇期間中（夏休み等）の利用希望について
現状	<p>◇定期的な教育・保育事業は7割近くが利用しており、幼稚園、認可保育所が大半を占め、その利用理由は、「子どもの教育や発達のため」が6割台半ば、「就労しているため」が5割台半ばである。幼稚園、認可保育所以外の施設の利用はわずかである。</p> <p>◇定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「利用する必要がない」が5割弱、「子どもがまだ小さいため」が6割弱である。</p> <p>◇利用意向では、幼稚園、認可保育所に加えて、認定こども園2割台半ば、ファミリーサポートセンター1割強など、いずれの施設も現状の利用状況に比べて割合が高くなっている。また、幼稚園の預かり保育の希望は、現状の3割以上の希望がある。</p> <p>◇土曜日の利用希望は「月に1～2回は利用したい」が2割台半ば、「ほぼ毎週利用したい」が1割強、利用する必要はないが6割強である。日曜日・祝日では「利用する必要はない」が7割台半ばを占めている。</p> <p>◇長期の休暇期間中の幼稚園の利用希望は6割である。</p>
課題	<p>◇平日の教育・保育事業は、幼稚園、認可保育所が中心だが、利用希望では、幼稚園の預かり保育、認定子ども園、ファミリーサポートセンター等の施設も割合が高くなっており、それらのニーズへの対応が求められる。</p> <p>◇幼稚園を利用している方の土曜日、日曜・祝日、長期休暇中の利用意向が、それぞれ37.8%、24.0%、59.5%とあり、その対応も必要である。</p>

4. 地域の子育て支援事業（子育て支援総合センター、つどいの広場等）の認知状況・利用状況・利用希望	
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援拠点事業（子育て支援総合センター、つどいの広場等）の利用の有無と利用回数について 今後の利用希望、利用回数について 各種地域子育て支援事業の認知状況や利用状況、利用希望について
現状	<p>◇「地域子育て支援拠点事業」を利用している人は2割であり、7割強の人は利用していない。今後の利用意向は3割台半ばである。</p> <p>◇事業の認知度では、母親学級、保育所等の園庭開放は8割強の人が知っているが、家庭教育の学級・講座、自治体発行の子育て支援情報誌の認知度はやや低い。今後の利用意向は、保育所等の園庭開放が5割台半ば、自治体発行の子育て支援情報誌が4割強である以外は3～4割弱と低い。利用経験に比べて利用意向が高いのは、教育相談室、子育ての総合相談窓口である。</p>
課題	<p>◇「地域子育て支援拠点事業」の利用意向は現在の1.4倍あり、対応が求められる。</p> <p>◇相談機能への期待が大きいと考えられることから、一層の充実が求められる。</p>

5. 病気の際の対応	
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> この1年間に病気やケガで通常の事業（幼稚園、保育所等）の利用ができなかったことの有無、また、その際の対処方法や日数について 父母が休んで対処した場合の「病児・病後児保育施設」の利用希望の有無について 「病児・病後児保育施設」を利用したいと思わない理由について
現状	<p>◇この1年間に子どもの病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことがある人は8割弱で、その時の対処方法は、「母親が休んだ」が7割台半ば、「親戚・知人に預けた」が4割弱、「父親が休んだ」が2割強、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が2割となっている。</p> <p>◇父親や母親が休んで対処した人の病児・病後児保育施設等の利用意向は4割弱である。</p> <p>◇病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない人の主な理由は、「親が休んで対応する」「他人に看てもらうのは不安」が6割弱である。</p>
課題	<p>◇子どもの病気やケガの際に、母親が休んで対応するケースが多い。</p> <p>◇病児・病後児保育施設等の利用意向は、父親や母親が休んで対処した人の4割弱を占めており、病児・病後児保育の整備が求められている。</p>

6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業（一時預かりや幼稚園の預かり保育等）と日数について 今後の利用希望と利用希望日数について 保護者の用事（冠婚葬祭、家族等の病気等）により泊りがけで家族以外にみてもらったこと有無と対処方法、宿泊日数について
現状	<p>◇不定期の就労のため利用される事業は「幼稚園の預かり保育」「一時預かり」の順であるが、「利用していない」が8割台半ばを占める。利用しない理由は「特に利用する必要がない」が7割台半ば。</p> <p>◇利用意向では、3割強の人が利用したいと回答しており、買い物、子どもや親の習い事、リフレッシュ、冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院、不定期の就労などその目的は多岐にわたっている。</p> <p>◇保護者の用事により、泊りがけで家族以外に預けることがあったのは2割弱で、その時の対処方法は、「親族・知人に預ける」「仕方なく子どもを同行させた」である。</p> <p>◇保護者の用事により、泊りがけで家族以外に預けるケースの「困難度」は、「困難」4割台半ば、「特に困難ではない」5割強。</p>
課題	<p>◇不定期の教育・保育事業は、4割の方に利用希望があり、目的も多様である。「幼稚園の預かり保育」「一時預かり」のニーズが高いと考えられ、事業の提供体制の整備が必要である。</p> <p>◇宿泊を伴うニーズでは、多くが親族等に依存しているが、依存することが困難と考えている人が4割台半ばいることから、宿泊を伴う預かりも検討していく必要がある。</p>

7. 学校就学後の放課後の過ごし方	
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年（1～3年生）で放課後過ごさせたい場所と日数について ・小学校高学年（4～6年生）で放課後過ごさせたい場所と日数について ・放課後児童クラブ（学童保育）の土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中（夏休み等）の利用希望、利用したい時間帯について
現状	<p>◇「小学校就学後に放課後の時間を過ごさせたい場所」は、「自宅」が小学校低学年、高学年時でのいずれにおいても6～7割弱と高い。次いで「習い事」が、低学年時では5割弱、高学年時ではそれを大きく上回って6割台半ばと、高くなっている。「祖父母宅や友人・知人宅」はそれぞれ3割前後、「放課後児童クラブ（学童保育）」は低学年で3割台半ば、高学年で2割強、「放課後子ども教室」はそれぞれ2割強。「その他（公民館、公園など）」は低学年で2割強、高学年で3割。高学年になると習い事の割合が多く、低学年でやや学童保育の割合が高い。</p>
課題	<p>◇放課後の過ごし方の意向は、高学年になると「習い事・学習塾」の割合が高くなるが、その他の過ごし方について学年の差はほとんどない。</p> <p>◇放課後児童クラブ（学童保育）のニーズは低学年で3割台半ば、高学年で2割強みられ、子どもたちが安全に過ごせる場所の整備が求められている。</p> <p>◇土曜、日曜の放課後児童クラブ（学童保育）のニーズは、日曜日の利用希望は少なめだが、土曜日と長期休暇中は特に低学年での利用希望が2割あり、これらへの対応も必要である。</p>

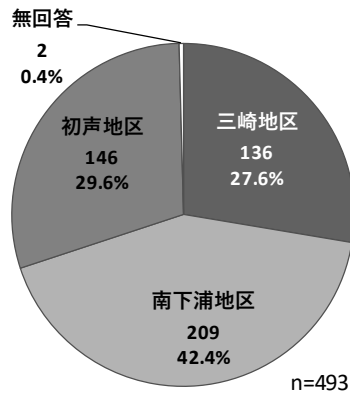
8. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度	
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> ・母親、父親の育児休業取得の有無について ・育児休業取得後の職場復帰について ・実際の職場復帰時期と希望が異なる場合について
現状	<p>◇育児休業の取得状況は、母親で3割、父親で3%であった。母親が育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が4割弱と多く、次いで、「仕事が忙しかった」が1割台半ばである。父親は「仕事が忙しかった」が3割台半ば、「制度を利用する必要がなかった」が3割、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」がそれぞれ3割弱であった。</p> <p>◇母親では、実際の職場復帰と希望が異なる人の4割弱が「希望より早く復帰」したとしており、「希望より遅く復帰したとする人は1割未満であった。「希望より早く復帰した理由」では「希望する保育所に入るため」が4割、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が3割。</p>
課題	<p>◇育児休業の取得状況は働いている母親の4割が取得していない。その理由に、仕事の忙しさ、職場の問題等が挙げられており、母親の就労継続支援や父親の育児休業取得促進に向けて、民間企業も巻き込んだ取組みが求められる。</p> <p>◇育児休業からの職場復帰が希望の時期にできない人が多く、その大きな理由として希望する保育所に入れなかったことが挙げられており、保育受け入れ体制の整備・拡大が必要である。</p>

9. 子育ての悩みと子育て環境の満足度	
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> • 子育てをされていて感じる悩みについて • 子育てをされていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いかについて • 地域における子育ての環境や支援の満足度について • 子育てを行っていて、特に困ること、困ったこと • 近所の人とのつきあい方
現状	<p>◇現在、子育てをされていて感じている悩みは、「子どもとの過ごし方・遊び方」が4割台半ばと最も多く、次いで「子どもの食生活」が4割強、「子どもの健康」3割強、「子どもの発育」3割弱である。</p> <p>◇子育てについて気軽に相談できる相手がない人は、現在、子育てで感じている悩みが多い傾向にある。</p> <p>◇子育てで「楽しさと大変さを同等に感じる」を含めると「楽しさを感じる」とする人が9割を占めている。</p> <p>◇子育て環境の満足度は、「普通」が3割台半ば、「満足度がやや低い」が3割弱である。満足度が「高い」「やや高い」は1割台半ばで、満足度が「低い」「やや低い」の5割弱を下回っている。</p> <p>◇子育てをして特に困ること、困ったことは、「安心して子どもを遊ばせられる場所がないこと」が5割台半ば、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」が5割強。</p> <p>◇近所の人とのつきあい方は、「会えばあいさつぐらいはする」が3割強、「たまに立ち話ぐらいはする」が3割弱。</p>
課題	<p>◇子育てに楽しさを感じている人は多いが、子育て環境の満足度は低くなっている。一方、「子どもとの過ごし方・遊び方」「子どもの食生活」「子どもの健康」「子どもの発育」等の悩みを持つ人も多く、これらに対応する相談体制等の充実が求められる。</p> <p>◇子どもの安全確保に関する不安を訴える声が多く、防犯等の対策を講じる必要がある。</p>

10. 子育てにかかる費用	
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> • 世帯の年収について • 子育てにかかっている費用について
現状	<p>◇年収500万円未満の世帯が5割弱、500万円以上は4割台半ば。収入が200万円未満はひとり親世帯の割合が高い。</p> <p>◇子育てにかかっている費用は、1か月に2～4万円未満が3割弱、2万円未満が4割強である。専業主婦・主夫で2万円未満の割合がやや高い。</p>
課題	<p>◇ひとり親世帯に対する支援の充実が求められる。</p>

お住まいの地域について

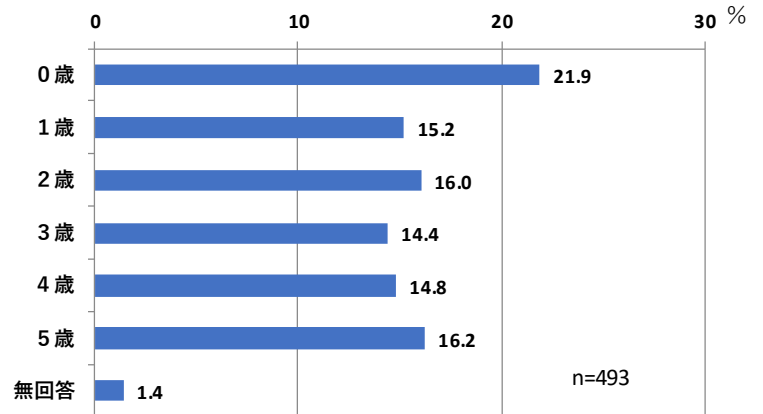
問1 お住まいの地区（○は1つ）



お子さんご家族の状況について

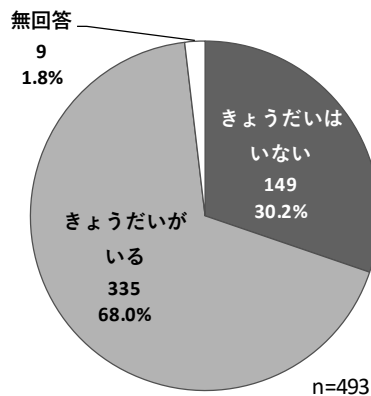
問2 あて名のお子さんの生年月（数字で記入）

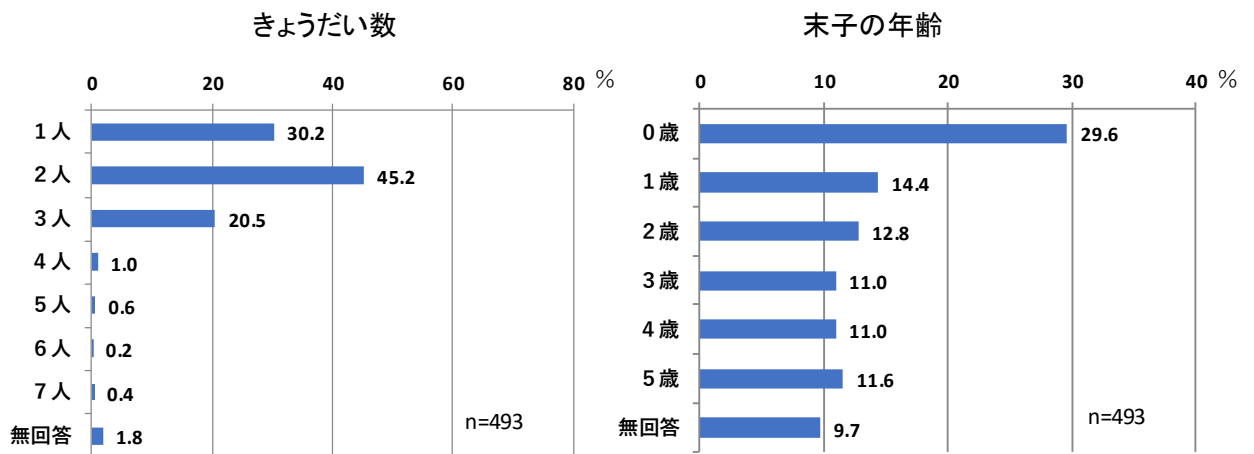
平成 年 月生まれ



問3 あて名のお子さんのきょうだいはあて名のお子さんを含めて何人ですか。（数字で記入）お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

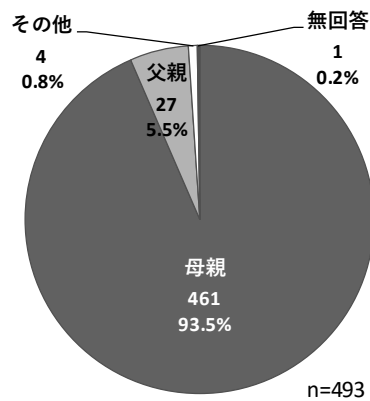
きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ





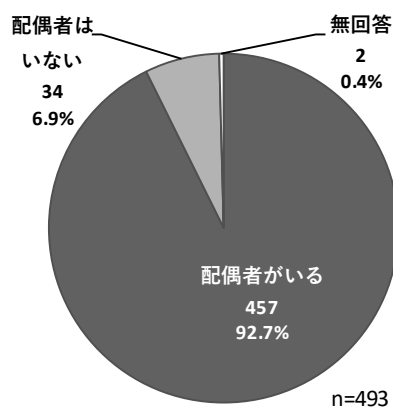
○2人兄弟の世帯が45.2%、3人以上の子のいる世帯は22.7%である。

問4 この調査票にご回答いただく方はあて名のお子さんからみてどなたですか。(○は1つ)



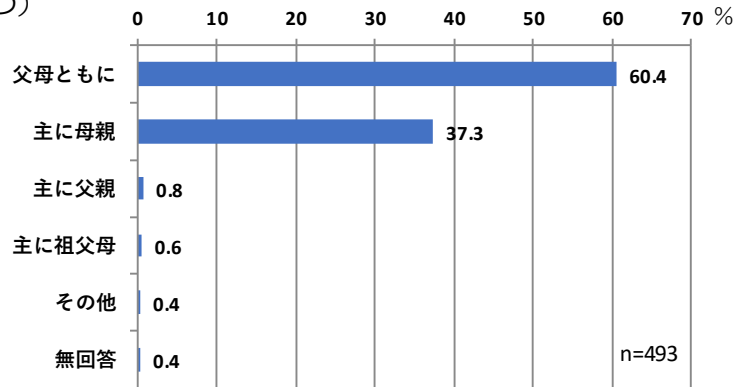
○母親が回答しているケースが93.5%を占める。

問5 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか。(○は1つ)



○配偶者のいない世帯は6.9%である。

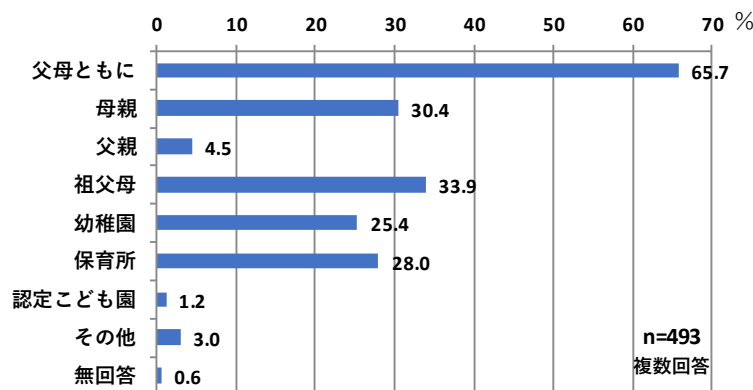
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、あて名のお子さんからみてどなたですか。（〇は1つ）



〇子育てを主に行っているのは父母ともにが60.4%を占め、主に母親が37.3%である。

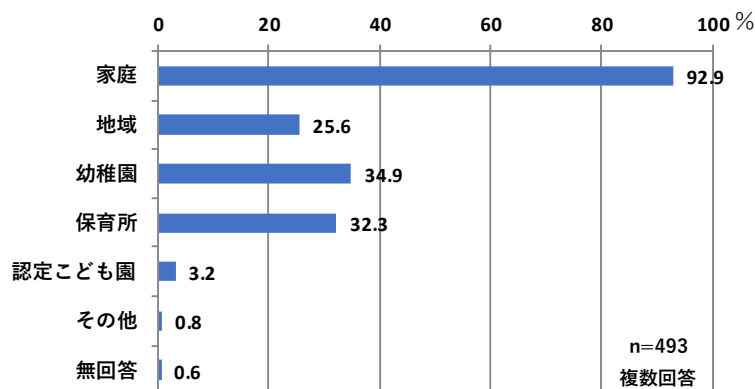
子どもの育ちをめぐる環境について

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方は、あて名のお子さんからみてどなた（施設）ですか。（〇はいくつでも）



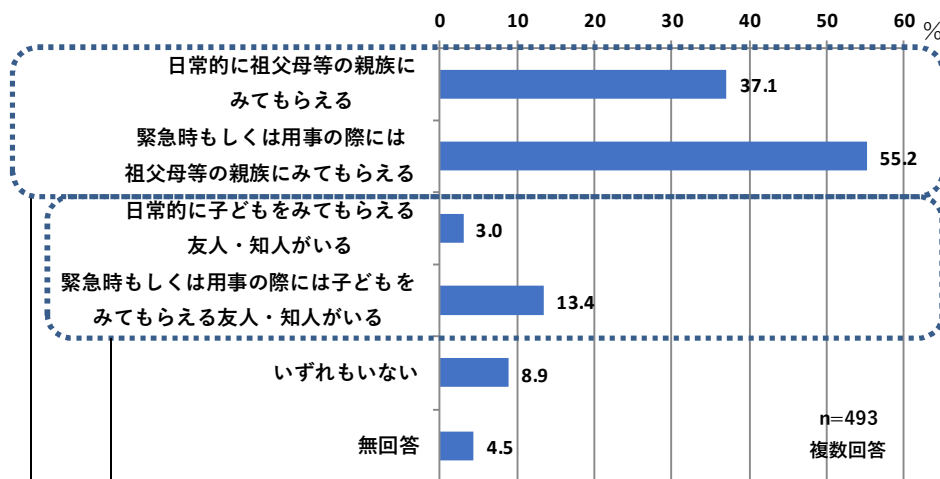
〇子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方は、父母ともにが65.7%でもっとも多く、次いで母親が30.4%、祖父母が33.9%である。

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は何ですか。（〇はいくつでも）

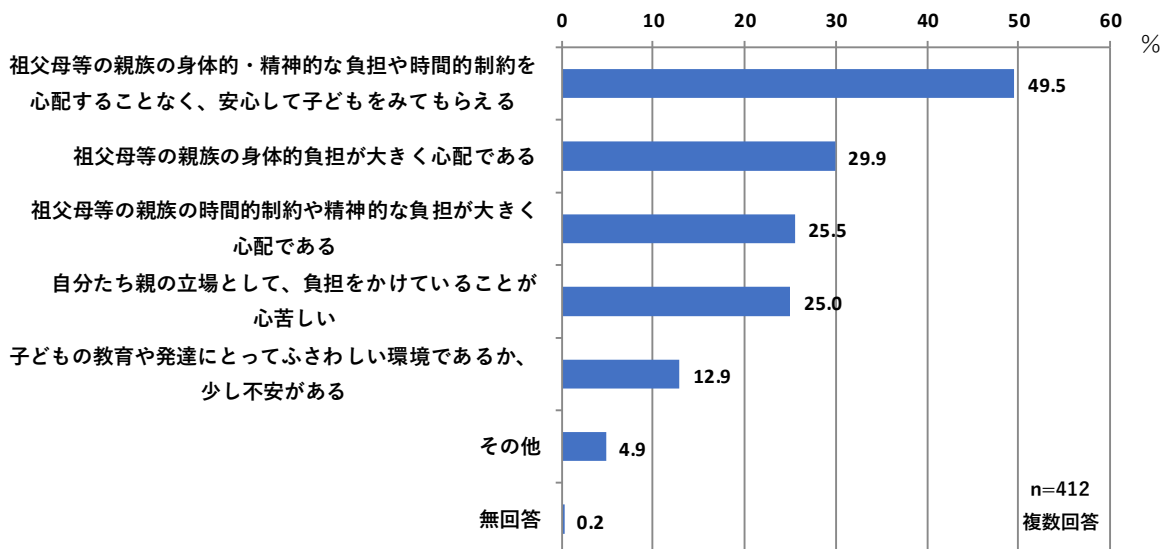


〇子育て（教育を含む）にもっとも影響すると思われる環境は、家庭が92.9%でもっとも多く、次いで幼稚園が34.9%、保育所が32.3%、地域が25.6%である。

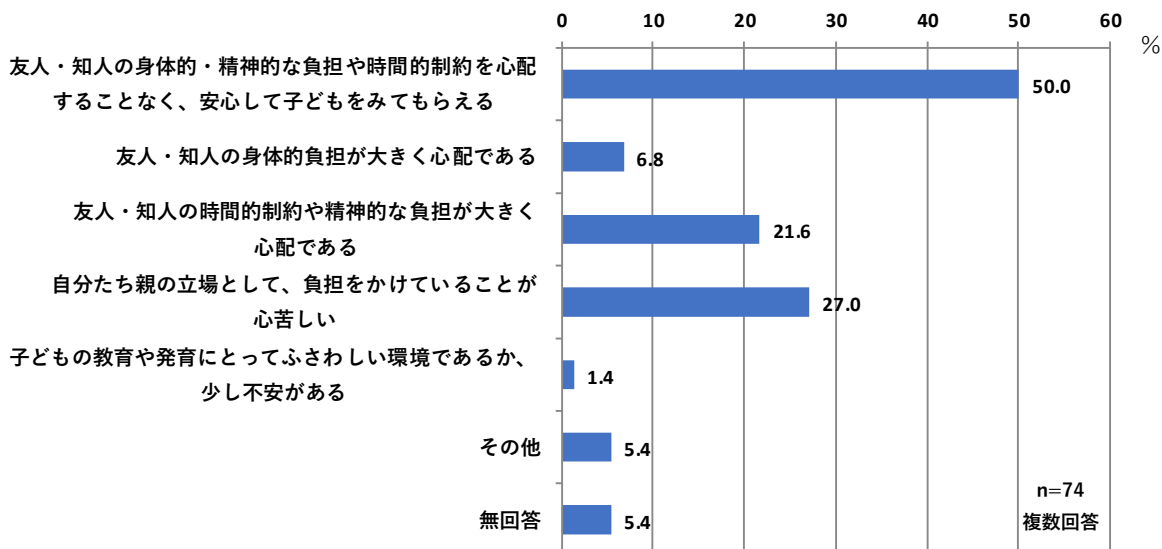
問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)



→ 問9-1 問9で「1」または「2」に回答された方うかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)



→ 問9-2 問9で「3」または「4」に回答された方うかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)



日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人（各種属性別）

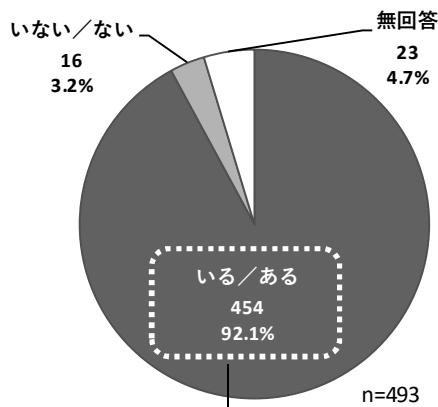
		合計	問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無					無回答
			日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	
	全体	493	37.1	55.2	3.0	13.4	8.9	4.5
問2-1 お子さんの年齢	0歳	108	38.0	53.7	2.8	4.6	11.1	0.9
	1歳	75	36.0	57.3	5.3	12.0	8.0	6.7
	2歳	79	38.0	60.8	1.3	15.2	6.3	2.5
	3歳	71	46.5	45.1	5.6	19.7	12.7	2.8
	4歳	73	34.2	52.1	0.0	13.7	9.6	9.6
	5歳	80	30.0	61.3	2.5	16.3	6.3	6.3
問3-1 きょうだいの有無	きょうだいはいない	149	34.2	58.4	2.0	7.4	11.4	2.0
	きょうだいがいる	335	38.2	53.4	3.0	16.1	8.1	5.7
問5 配偶者の有無	配偶者がいる	457	36.8	54.9	2.8	13.6	9.4	4.4
	配偶者がいない	34	44.1	55.9	5.9	8.8	2.9	5.9
問39 世帯の年収	～200万円	26	46.2	53.8	0.0	7.7	3.8	3.8
	200～300万円	49	53.1	55.1	6.1	16.3	2.0	0.0
	300～400万円	83	34.9	61.4	3.6	13.3	7.2	2.4
	400～500万円	82	32.9	58.5	1.2	13.4	6.1	7.3
	500～700万円	130	36.2	53.1	3.1	11.5	12.3	4.6
	700～1,000万円	75	30.7	53.3	4.0	18.7	13.3	1.3
	1,000万円以上	20	25.0	55.0	0.0	15.0	20.0	10.0
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用	利用している	336	33.3	57.1	2.7	15.8	9.8	5.4
	利用していない	157	45.2	51.0	3.8	8.3	7.0	2.5
問15-1 平日、定期的にご利用している教育・保育事業	幼稚園	148	36.5	51.4	3.4	19.6	10.1	3.4
	幼稚園の預かり保育	30	26.7	60.0	3.3	23.3	20.0	3.3
	認可保育所	150	31.3	62.7	1.3	11.3	8.7	6.7
	認定こども園	7	42.9	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0
	家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保育施設	6	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	16.7
	自治体の認証・認定保育施設	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
	その他の認可外の保育施設	2	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	9	33.3	55.6	11.1	11.1	22.2	0.0
問32 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じるが多いか	楽しさを感じる	145	46.9	49.0	4.8	11.7	5.5	3.4
	どちらかといえば楽しさを感じる	143	31.5	57.3	1.4	16.8	9.8	4.2
	楽しさと大変さを同等に感じる	152	35.5	59.9	3.3	13.2	9.2	5.3
	どちらかといえば大変さを感じる	36	30.6	58.3	2.8	11.1	8.3	5.6
	大変さを感じる	12	25.0	33.3	0.0	0.0	41.7	8.3
問33 地域における子育ての環境や支援の満足度	満足度が低い	89	29.2	50.6	3.4	12.4	15.7	5.6
	満足度がやや低い	146	33.6	59.6	2.1	15.8	8.2	4.1
	満足度は普通	181	42.5	55.8	3.9	13.8	6.6	3.9
	満足度がやや高い	62	37.1	54.8	3.2	8.1	8.1	6.5
	満足度が高い	12	58.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
問31 現在、子育てをしていて感じている悩み（統合）	悩みがある	395	37.0	56.2	3.5	13.2	8.6	4.8
	悩みはない	90	40.0	50.0	1.1	13.3	10.0	3.3
問38 子育てについて、気軽に相談できる人（統合）	親戚・友人・近所の人	472	37.3	56.4	3.2	14.0	7.8	4.4
	子育ての専門スタッフ	269	36.1	58.0	3.0	14.9	8.9	4.1
	特になし	8	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0
問40 あて名のお子さんの子育てにかかっている1カ月の費用	2万円未満	144	38.2	52.8	2.1	10.4	8.3	4.2
	2～4万円未満	205	40.0	58.5	3.4	14.1	7.3	2.9
	4～6万円未満	104	29.8	53.8	4.8	19.2	10.6	8.7
	6～8万円未満	20	25.0	60.0	0.0	5.0	15.0	5.0
	8万円以上	8	25.0	62.5	0.0	12.5	25.0	0.0

○子育てに対する周囲からの支え（育児の手伝い）は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.2%と、もっとも多く、次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が37.1%。「いずれもない」は8.9%。

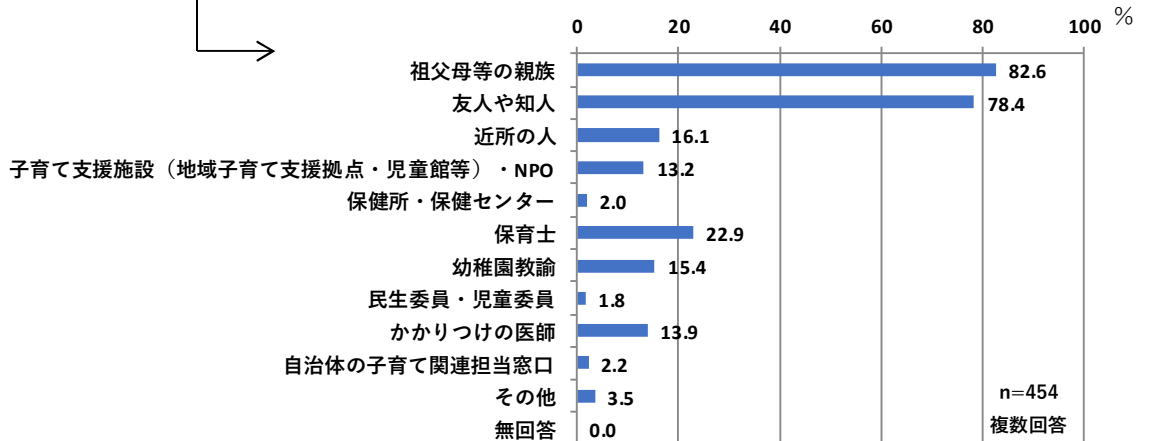
日頃、子どもをみてもらえる親族・知人（地域・就労状況別）

		合計	問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無					
			日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
全体		493	37.1	55.2	3.0	13.4	8.9	4.5
問1 居住地区	三崎地区	136	39.0	52.2	2.9	13.2	9.6	3.7
	南下浦地区	209	33.5	59.8	4.3	12.9	8.6	4.3
	初声地区	146	41.1	51.4	1.4	14.4	8.9	4.8
世帯の就労状況	ひとり親家庭	28	53.6	50.0	7.1	7.1	0.0	7.1
	共稼ぎ（フルタイム）	128	35.2	57.8	1.6	7.0	12.5	5.5
	共稼ぎ（パート）	127	35.4	55.9	2.4	19.7	9.4	4.7
	専業主婦・主夫	186	37.6	53.2	3.8	14.5	8.6	2.2
	その他	24	33.3	58.3	4.2	12.5	0.0	12.5

問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（○は1つ）



問10-1 問10で「1. いる/ある」に回答された方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）



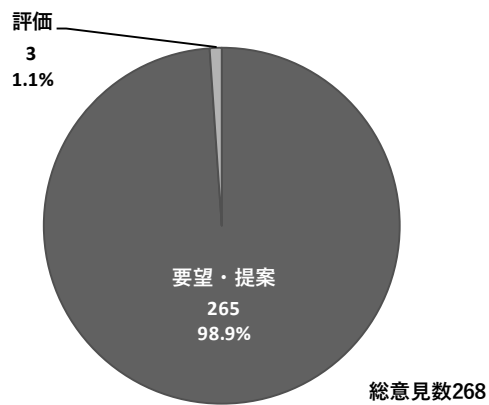
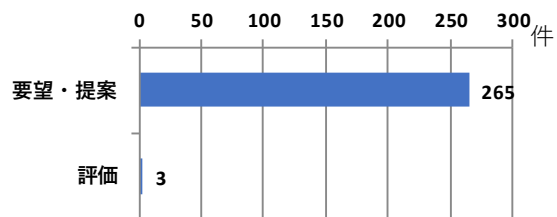
気軽に相談できる人（各種属性別）

	合計	問10-1 子育てに関して気軽に相談できる先											
		祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設(地域子育て支援拠点・児童館等)・NPO	保健所・保健センター	保育士	幼稚園教諭	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連窓口	その他	無回答
全体	454	82.6	78.4	16.1	13.2	2.0	22.9	15.4	1.8	13.9	2.2	3.5	0.0
問2-1 お子さんの年齢													
0歳	102	90.2	72.5	10.8	23.5	2.9	17.6	2.9	2.0	18.6	2.9	5.9	0.0
1歳	70	87.1	84.3	20.0	20.0	1.4	27.1	11.4	2.9	12.9	2.9	1.4	0.0
2歳	70	78.6	77.1	12.9	7.1	2.9	28.6	14.3	0.0	10.0	1.4	2.9	0.0
3歳	65	81.5	84.6	18.5	10.8	0.0	27.7	21.5	4.6	10.8	1.5	1.5	0.0
4歳	65	78.5	76.9	10.8	3.1	1.5	21.5	26.2	1.5	15.4	1.5	4.6	0.0
5歳	75	74.7	76.0	24.0	6.7	2.7	20.0	21.3	0.0	13.3	2.7	2.7	0.0
問3-1 きょうだいの有無													
きょうだいはいない	141	82.3	73.0	8.5	16.7	2.1	27.0	12.8	2.8	13.5	2.8	5.7	0.0
きょうだいがいる	304	83.2	80.6	19.4	11.5	1.6	20.7	17.1	1.0	13.8	1.6	2.6	0.0
問5 配偶者の有無													
配偶者がいる	424	82.5	79.0	16.3	13.9	2.1	22.4	16.0	1.7	14.2	2.4	3.5	0.0
配偶者がいない	28	82.1	67.9	10.7	3.6	0.0	25.0	7.1	3.6	10.7	0.0	3.6	0.0
問39 世帯の年収													
～200万円	24	91.7	66.7	4.2	16.7	0.0	12.5	20.8	4.2	20.8	0.0	8.3	0.0
200～300万円	42	88.1	71.4	11.9	2.4	0.0	31.0	19.0	0.0	11.9	0.0	2.4	0.0
300～400万円	71	87.3	77.5	14.1	12.7	4.2	21.1	9.9	2.8	11.3	5.6	2.8	0.0
400～500万円	80	78.8	82.5	18.8	13.8	0.0	23.8	10.0	0.0	13.8	1.3	1.3	0.0
500～700万円	120	85.0	80.0	15.0	14.2	0.8	20.8	18.3	3.3	10.8	2.5	5.8	0.0
700～1,000万円	72	77.8	80.6	25.0	20.8	4.2	27.8	22.2	1.4	13.9	1.4	2.8	0.0
1,000万円以上	20	65.0	75.0	20.0	5.0	5.0	20.0	10.0	0.0	30.0	5.0	0.0	0.0
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用													
利用している	307	79.8	79.5	16.3	7.8	1.6	30.3	20.5	1.3	12.4	1.6	3.3	0.0
利用していない	147	88.4	76.2	15.6	24.5	2.7	7.5	4.8	2.7	17.0	3.4	4.1	0.0
問15-1 平日、定期的にご利用している教育・保育事業													
幼稚園	135	83.0	83.0	23.0	8.1	0.7	1.5	37.0	2.2	11.1	1.5	3.7	0.0
幼稚園の預かり保育	25	68.0	84.0	28.0	0.0	0.0	4.0	48.0	8.0	20.0	4.0	12.0	0.0
認可保育所	139	77.7	77.7	9.4	7.2	2.2	61.2	0.7	0.7	12.9	2.2	2.2	0.0
認定こども園	5	80.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設	5	80.0	100.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自治体の認証・認定保育施設	3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
その他の認可外の保育施設	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
その他	9	77.8	77.8	22.2	44.4	11.1	22.2	22.2	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0
問32 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか													
楽しさを感じる	142	83.1	82.4	14.8	16.2	3.5	21.1	14.8	2.1	18.3	2.8	3.5	0.0
どちらかといえば楽しさを感じる	134	88.1	80.6	17.2	12.7	1.5	20.9	23.1	0.7	10.4	0.0	3.7	0.0
楽しさと大変さを同等に感じる	136	80.1	77.2	17.6	10.3	0.7	25.7	11.8	2.9	13.2	3.7	2.2	0.0
どちらかといえば大変さを感じる	29	72.4	72.4	13.8	17.2	0.0	20.7	6.9	0.0	13.8	3.4	6.9	0.0
大変さを感じる	8	75.0	37.5	0.0	12.5	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問33 地域における子育ての環境や支援の満足度													
満足度が低い	80	77.5	77.5	15.0	11.3	2.5	21.3	10.0	1.3	11.3	3.8	2.5	0.0
満足度がやや低い	133	82.7	79.7	16.5	10.5	2.3	24.8	15.0	1.5	12.0	1.5	3.8	0.0
満足度は普通	167	85.0	78.4	13.2	13.2	1.2	24.0	18.6	2.4	16.2	3.0	2.4	0.0
満足度がやや高い	61	82.0	77.0	24.6	21.3	3.3	21.3	16.4	0.0	14.8	0.0	4.9	0.0
満足度が高い	10	90.0	90.0	20.0	20.0	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0
問31 現在、子育てをしていて感じている悩み(統括)													
悩みがある	359	81.6	78.6	15.9	14.5	2.5	25.9	14.2	1.7	13.1	2.2	2.8	0.0
悩みはない	87	85.1	80.5	18.4	9.2	0.0	12.6	19.5	2.3	17.2	2.3	5.7	0.0
問38 子育てについて、気軽に相談できる人(統括)													
親戚・友人・近所の人	442	84.2	79.9	16.3	13.1	1.8	22.6	15.6	1.8	13.6	2.3	3.6	0.0
子育ての専門スタッフ	246	80.1	83.7	16.3	20.3	3.7	37.4	24.4	3.3	21.1	3.7	3.7	0.0
特になし	3	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○子育て（教育を含む）について、気軽に相談できる人は「祖父母等の親族」が82.6%、次に「友人や知人」が78.4%となっている。次いで「保育士」が22.9%、「近所の人」が16.1%。

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。自由にお書きください。

回答のあった件数 173 件
意見総数 268 件



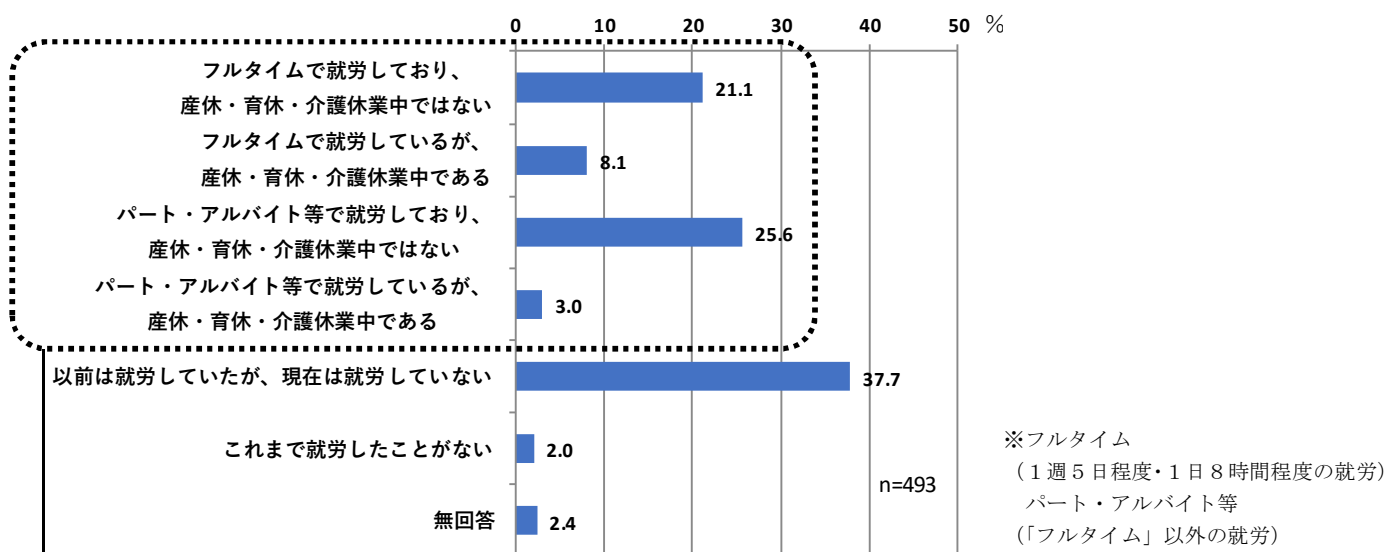
意見の内容(詳細)

サポートの内容	要望・提案	評価	総計	サポートの内容	要望・提案	評価	総計
一時預かり	84		84	声かけ・見守り・地域での子育て	6	1	7
緊急時に預けられる場所	7		7	声かけ	3		3
気軽に預けられる環境づくり	8		8	地域全体での子育て	2		2
病児保育	15		15	見守り	1		1
一時預かりの充実	10		10	声かけがありがたい	0	1	1
ファミリーサポートの導入	13		13	経済的支援	8		8
短時間見てもらえるサービス	10		10	経済的支援	4		4
ベビーシッター、自宅での保育	9		9	子育てに関する支援の拡充	2		2
学童保育の充実	5		5	保育料を安くしてほしい	2		2
長期休暇中に預けられる場所	1		1	子育て支援	4		4
朝早くから預けられるサービス	1		1	土日の窓口・相談	1		1
土日でも預けられる場所	5		5	検診時の配布物に関する配慮	1		1
相談	32		32	安心安全な環境作り	1		1
気軽に相談できる環境	9		9	企業の子育て支援の義務付け	1		1
話を聞いてくれるだけでよい	5		5	知育	8		8
相談できる環境	3		3	学べる場づくり	4		4
電話相談	2		2	図書館の充実	4		4
子育て経験者の体験談	2		2	訪問・連絡	4		4
定期的に相談できるサポート	1		1	定期的な訪問・連絡	3		3
専門家との相談	4		4	個別訪問の実施	1		1
インターネットやHPを利用した相談やQ&A	2		2	イベント	4		4
時間を問わずに相談できる環境	4		4	まじめな勉強会	1		1
子どもの遊び場	33		33	気軽に参加できるイベント	1		1
公園の整備	10		10	共働きでも参加できる時間帯でのイベントの開	1		1
子ども同士で遊べる場所	4		4	国際交流などのイベント	1		1
親子で遊べる施設	1		1	医療	13		13
小さい子が遊べる場所	3		3	病院の充実	7		7
安心して遊べる場所	1		1	救急体制の整備	4		4
雨天時に遊べる施設・室内施設	2		2	訪問診療、予防接種の自宅接種	1		1
気軽に遊びに行ける場所	1		1	体重・身長が計れる場所	1		1
土日、放課後に遊べる場所	3		3	幼稚園・保育園	3	2	5
遊び相手になってほしい	1		1	幼稚園の保育が充実している	1		1
児童館の整備	7		7	保育園入園条件の緩和	1		1
情報	19		19	保育園での相談		2	2
子育て情報・教育情報の提供	4		4	保育園での病児保育	1		1
医療に関する情報提供	1		1	支援センター等	8		8
行政情報・地域の情報の提供	1		1	支援センターの増設・充実	8		8
幼稚園・保育園・学校での様子	2		2	送迎	7		7
情報誌の充実	1		1	幼稚園・保育園の送迎支援	1		1
情報発信	2		2	運転代行・子育てタクシー	1		1
インターネット、SNSの活用	6		6	親が病気の時の送迎の代行	3		3
情報共有の場(ネットワーク)が欲しい	2		2	習い事の送迎	2		2
集いの場	14		14	商業	1		1
親同士で交流できる場	3		3	子連れで行けるお店	1		1
同年齢の子と知り合える場づくり	4		4	啓発	3		3
集まれる場所が欲しい	3		3	子育てに対しての理解	3		3
「みまぐっこ」のような取組の充実、年齢拡大	3		3	その他	3		3
親子で交流できる場	1		1	リサイクル	2		2
母親に対する支援	10		10	その他	1		1
いざというときに頼れるサービス	5		5	現状で満足	1		1
家事の支援	3		3	総計	265	3	268
産後ケア	1		1				
母親の心のサポート	1		1				

保護者の就労状況について

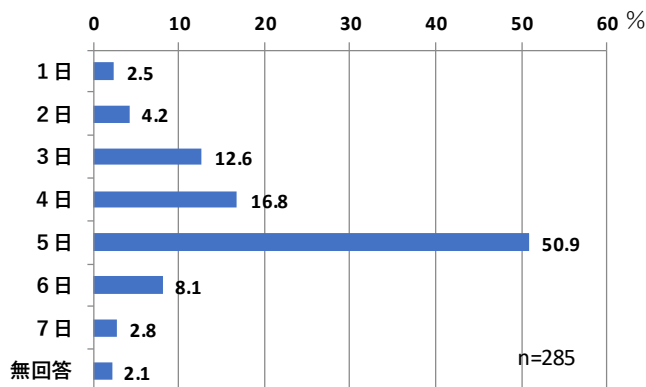
問 12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

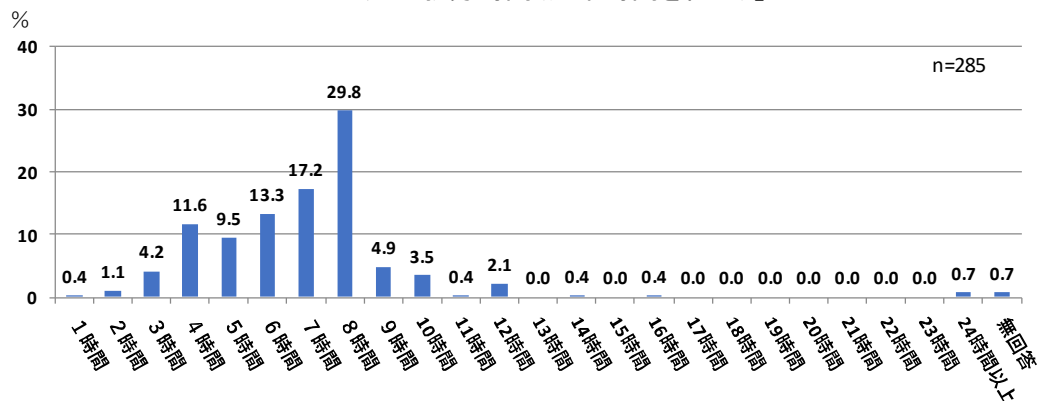


(1) -1 (1)で「1～4」(就労している)に回答された方にうかがいます。1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、1週当たりの「就労日数」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

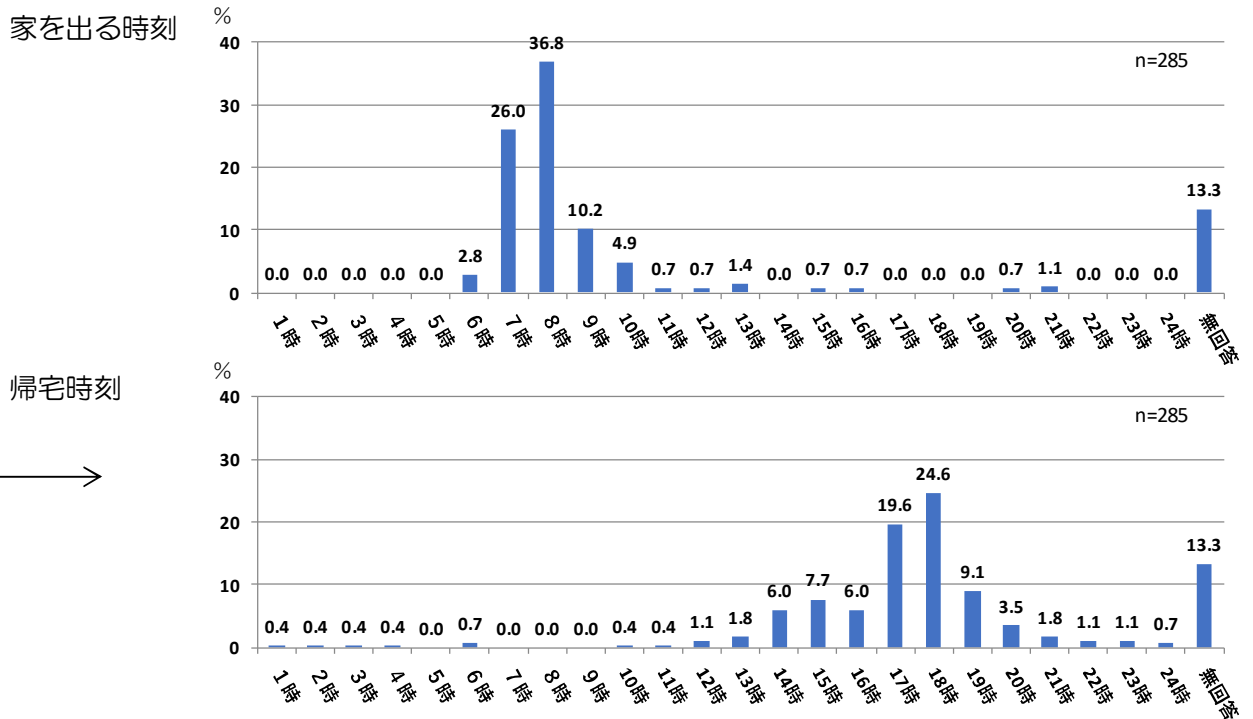
1週当たりの「就労日数」



1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」



(1) -2 (1)で「1～4」(就労している)に回答された方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)時間は、必ず(例)08時、18時のように、24時間制で記入してください。



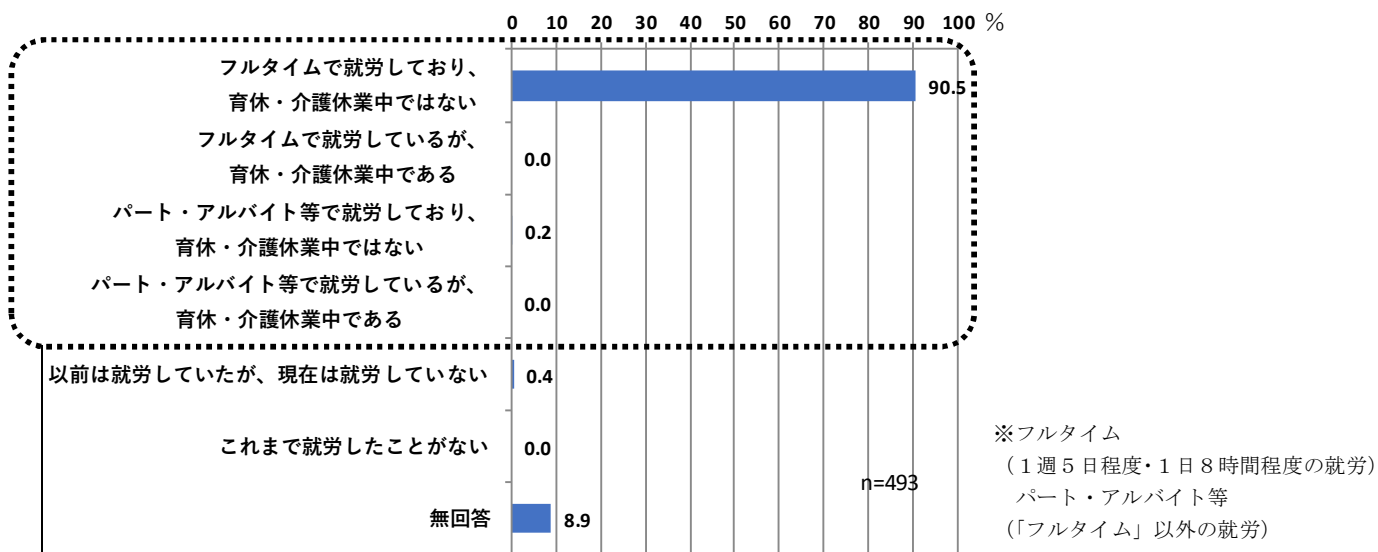
○就労していない母親は39.8%、フルタイムの就労は29.2%、パートタイムの就労は28.6%、育休等も含む就労中の57.8%のうち、週5日以上勤務が61.8%、週4日勤務が16.8%、週3日勤務が12.6%。1日8時間以上労働が42.1%、6～7時間労働が30.5%、5時間以内労働が26.7%。
 ○休業中も含む就労している母親の62.8%が7～8時台に家を出て、53.3%が17～19時台に帰宅。

母親の就労状況 (地域別・就労状況別)

	合計	問12 (母親) 就労状況							
		フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	
問1 居住地区	全体	493	21.1	8.1	25.6	3.0	37.7	2.0	2.4
	三崎地区	136	23.5	11.8	25.0	4.4	32.4	0.0	2.9
	南下浦地区	209	21.1	9.1	23.0	1.9	38.8	4.3	1.9
	初声地区	146	18.5	3.4	30.1	3.4	41.1	0.7	2.7
世帯の就労状況	ひとり親家庭	28	35.7	0.0	32.1	3.6	10.7	3.6	14.3
	共稼ぎ (フルタイム)	128	69.5	30.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	共稼ぎ (パート)	127	0.8	0.0	88.2	11.0	0.0	0.0	0.0
	専業主婦・主夫	186	0.0	0.0	0.0	0.0	95.2	4.8	0.0
	その他	24	16.7	4.2	20.8	0.0	25.0	0.0	33.3

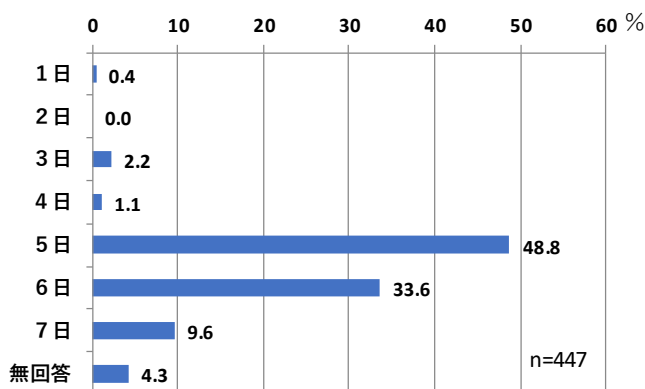
○母親の就労状況に関しては、顕著な地域の差はみられない。
 ○フルタイムで就労していた母親の30.5%は育休などの休職をとっている。
 ○ひとり親の母親のうち、フルタイム35.7%、パートタイム35.7%、14.3%は就労していない。
 ○現在、専業主婦の方のうち、95.2%の方は以前、就労していた。

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】(〇は1つ)

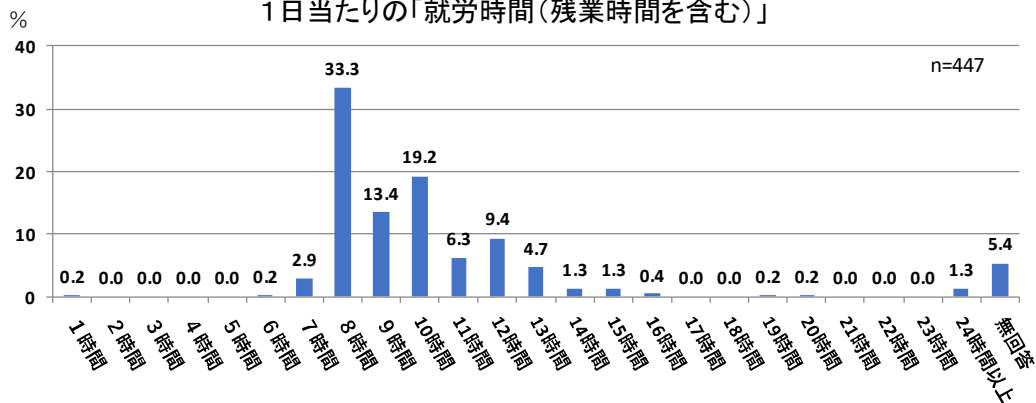


(2) -1 (2) で「1~4」(就労している) に回答された方にうかがいます。1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」1週当たりの「就労日数」、をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

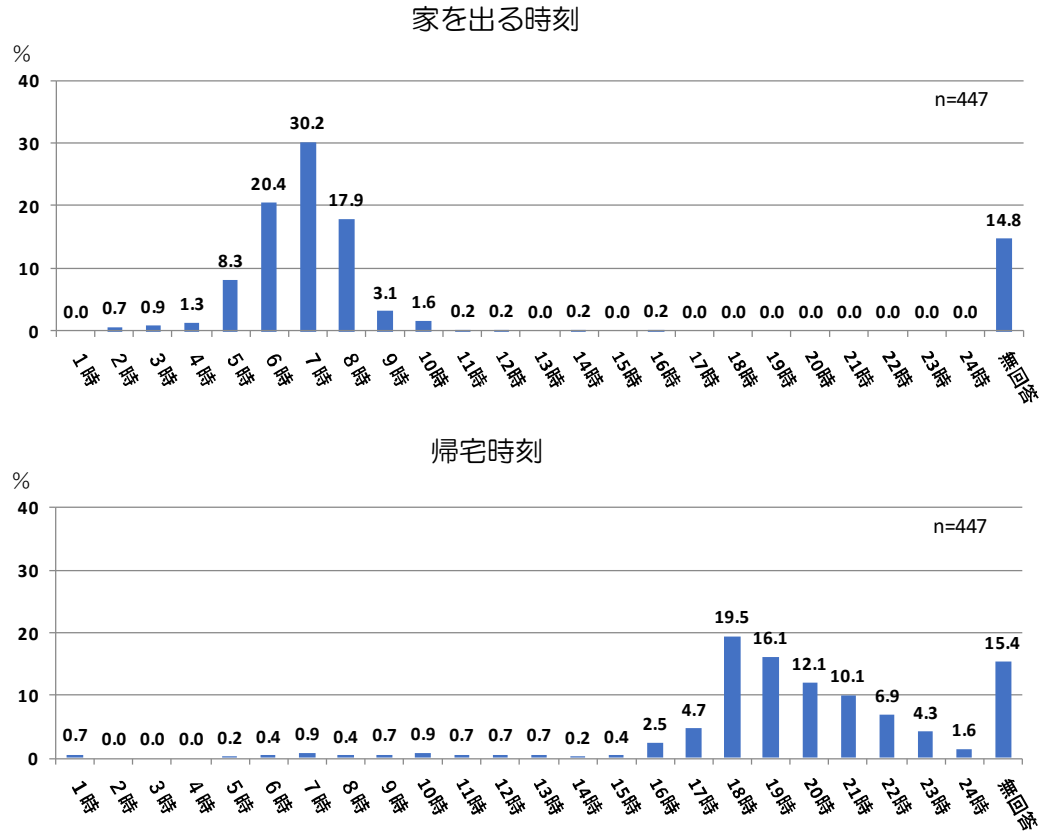
1週当たりの「就労日数」



1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」



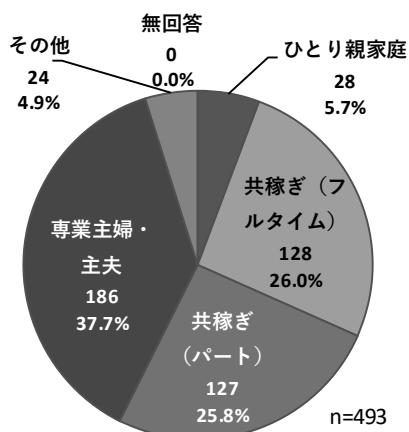
(2) -2 (2)で「1~4」(就労している)に回答された方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)時間は、必ず(例)08時、18時のように、24時間制で記入してください。



○父親の90.5%がフルタイム、産休・育休・介護休業中の人はいない。就労中の90.7%のうち、週5~6日勤務が82.4%、1日8時間以上労働が91.3%。
 ○就労中の父親の68.5%が6~8時台に家を出て、24.2%が17~18時台に、49.4%が19~23時台に帰宅。

就労状況

- 共稼ぎフルタイムの夫婦は、全体の26.0%。
- どちらかがパートの共稼ぎは、25.8%。
- どちらかが就労していない専業主婦・専業主夫は、37.7%。
- 問5で配偶者はいないと答えたひとり親は6.9%。



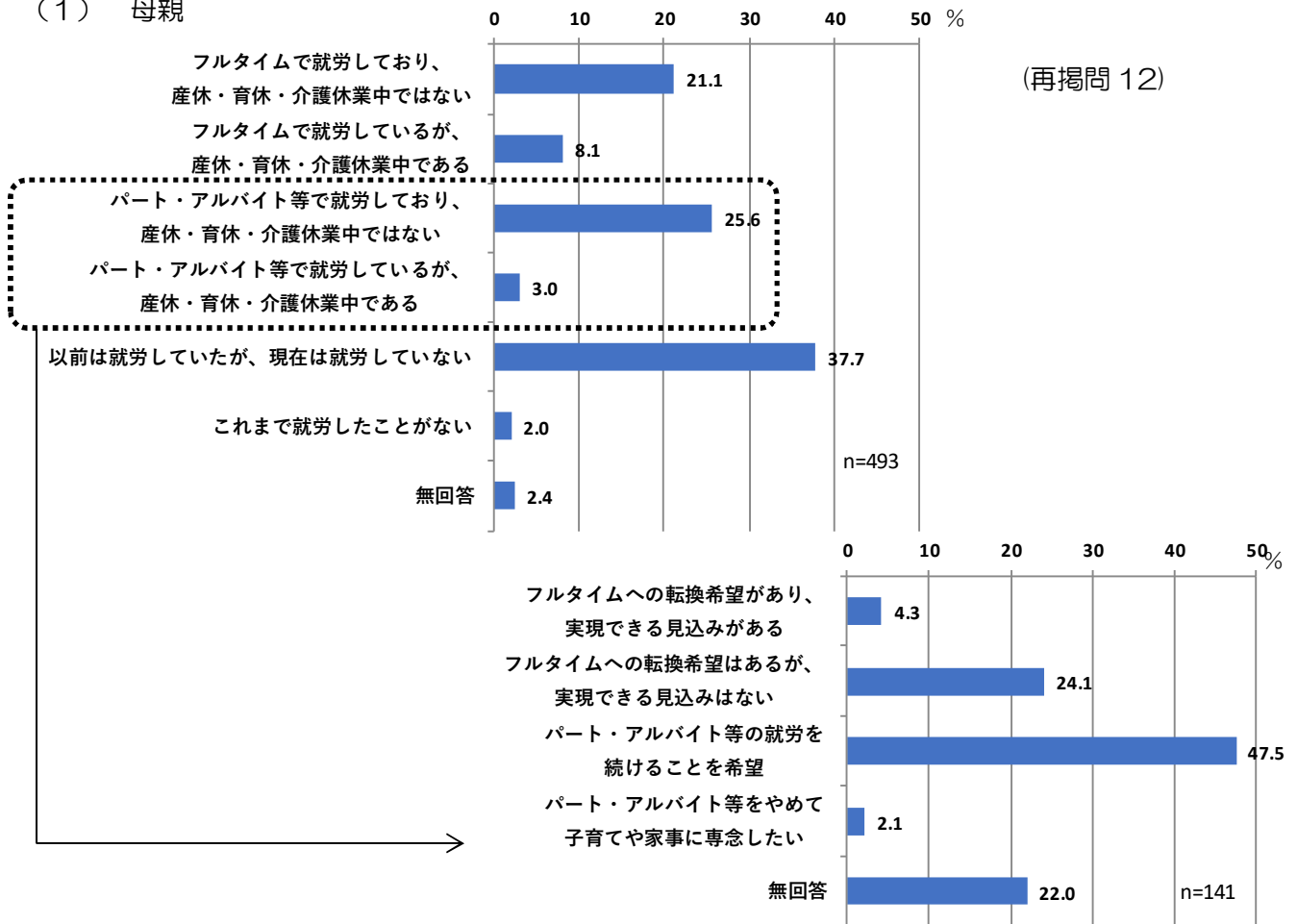
	合計	問11 (父親) 就労状況						無回答	
		フルタイム	フルタイム (休業中)	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等 (休業中)	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない		
全体	493	446	0	1	0	2	0	44	
問11 (母親) 就労状況	フルタイム	104	18.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	2.8
	フルタイム (休業中)	40	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
	パート・アルバイト等	126	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8
	パート・アルバイト等 (休業中)	15	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	186	35.9	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	1.6
	これまで就労したことがない	10	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
	無回答	12	1.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	1.0

共稼ぎフルタイム	
共稼ぎパート	
専業主婦・主夫	
その他	

問 13 問 12 の (1) または (2) で「3・4」(パート・アルバイト等で就労している) に回答された方
 にかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

(1) 母親

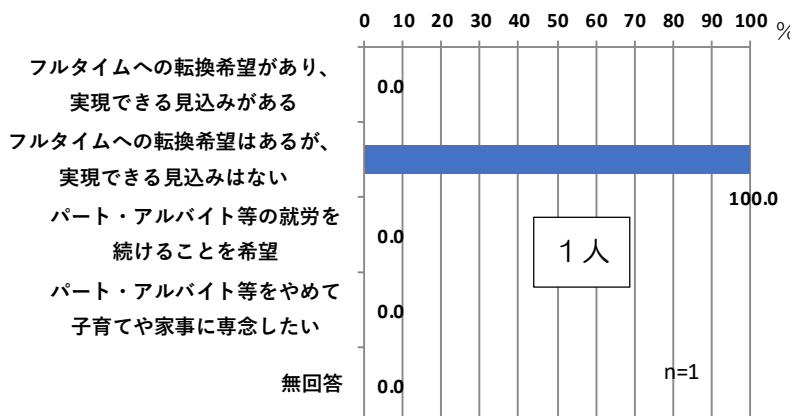
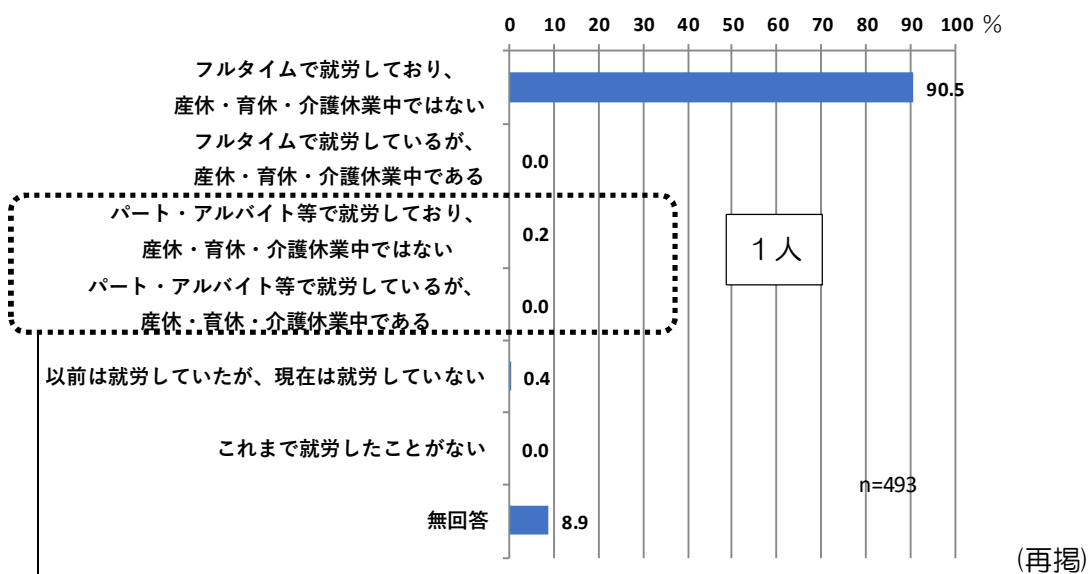


		合計	問13 (母親) フルタイムへの転換希望				
			フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	無回答
全体		141	4.3	24.1	47.5	2.1	22.0
問 1 居住地区	三崎地区	40	7.5	25.0	42.5	5.0	20.0
	南下浦地区	52	1.9	23.1	46.2	1.9	26.9
	初声地区	49	4.1	24.5	53.1	0.0	18.4
世帯の就労状況	ひとり親家庭	10	10.0	40.0	30.0	0.0	20.0
	共稼ぎ (フルタイム)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	共稼ぎ (パート)	126	3.2	22.2	49.2	2.4	23.0
	専業主婦・主夫	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	5	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0

○母親でパート・アルバイト等の就労者のフルタイムへの転換希望は、28.4%、パート就労を続けることを希望は 47.5%、パート就労をやめて子育てや家事に専念したい方は 2.1%。

○ひとり親の母親でパートの就労をしている方のうち、40%の方 (10人中4人) がフルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みがない。

(2) 父親

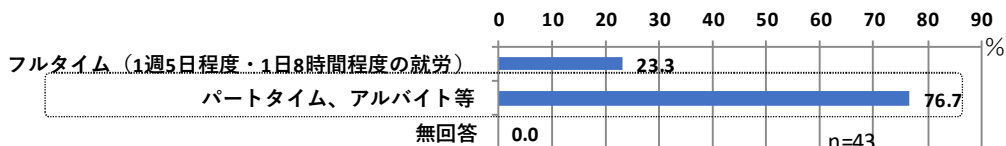
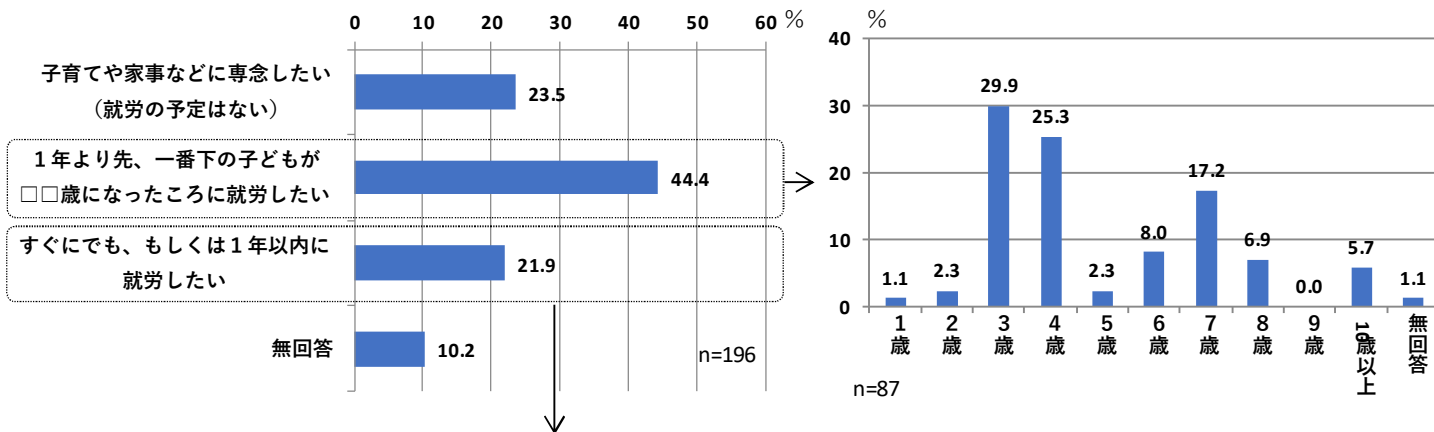
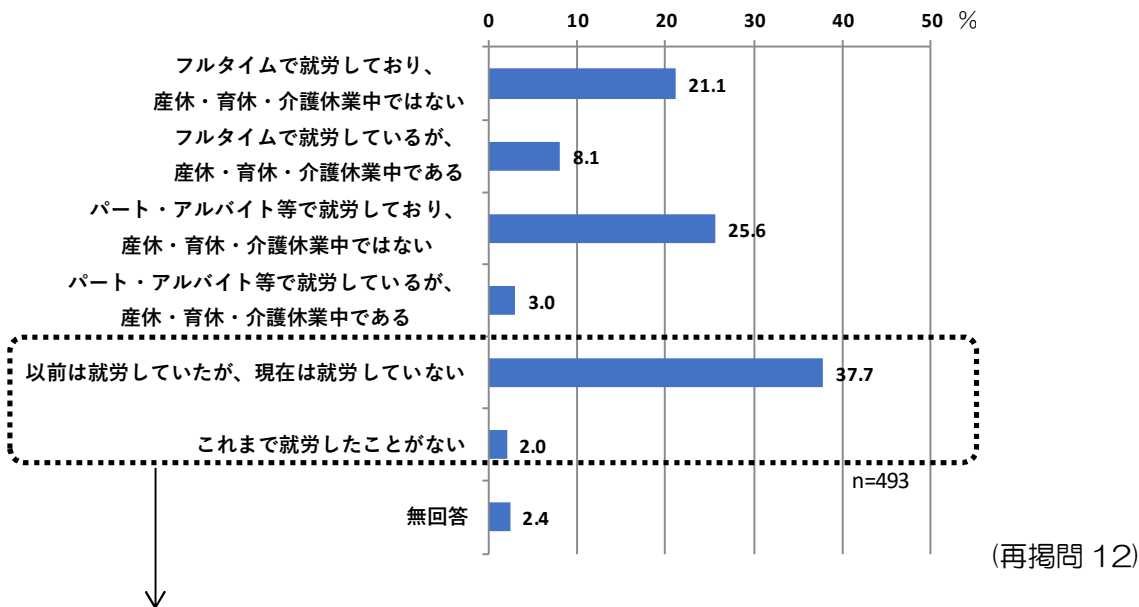


○回答者 493 人のうち、育休・介護休業中も含めたパート・アルバイトの就労の方は 1 名で、フルタイムへの転換を希望。

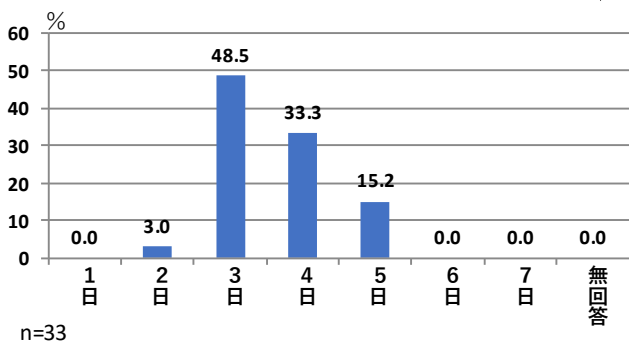
問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に回答された方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。(それぞれ〇は1つ) (口内に数字を記入)

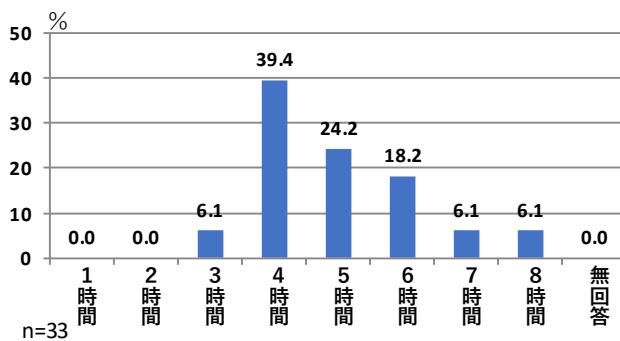
(1) 母親



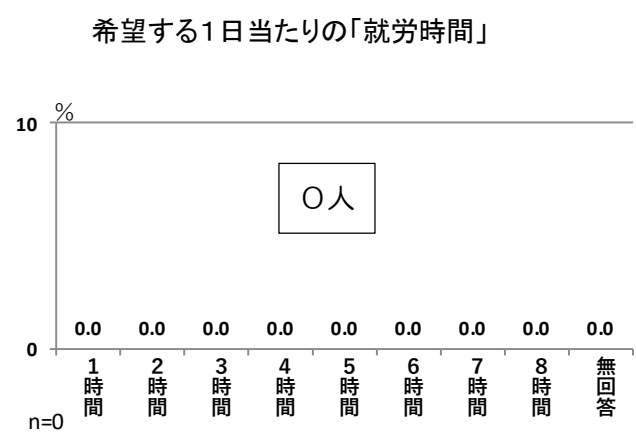
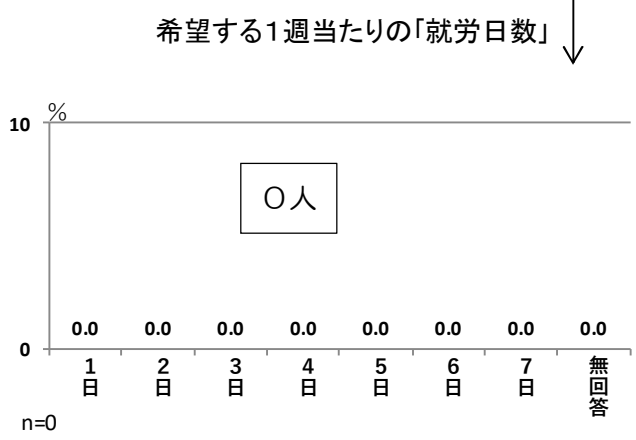
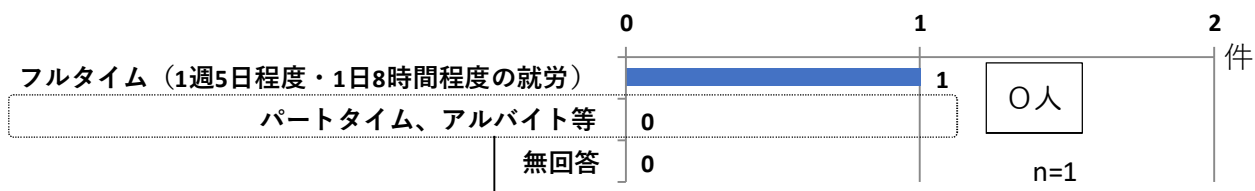
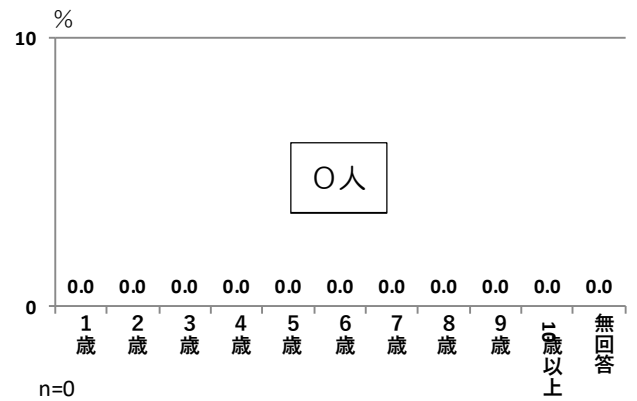
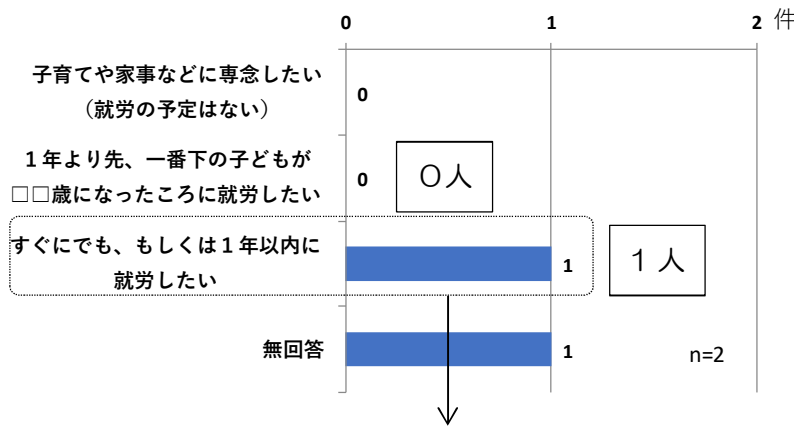
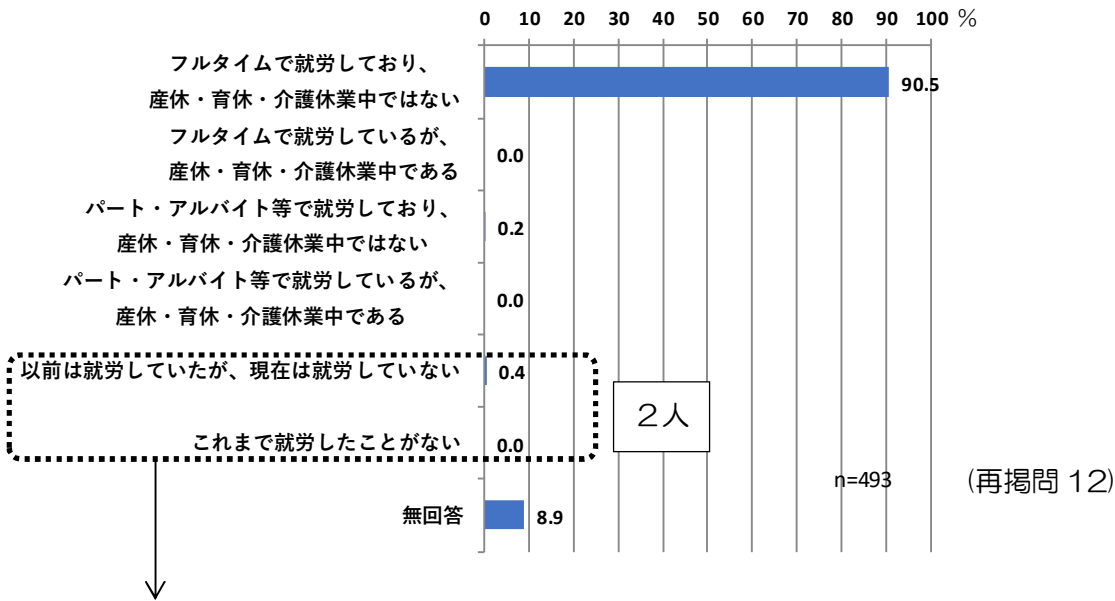
希望する1週当たりの「就労日数」



希望する1日当たりの「就労時間」



(2) 父親



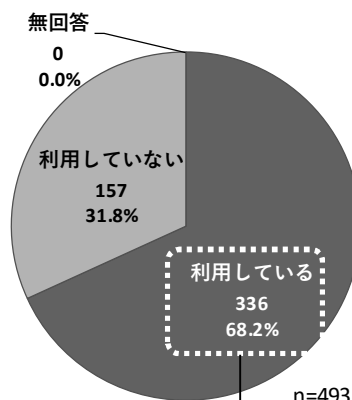
○現在就労をしていない母親の23.5%は「子育てや家事に専念したい」と回答。「1年より先に就労を希望する」と回答した44.4%のうちの「1番下の子どもが3歳~4歳頃に就労希望」が55.2%、「6~7歳のころまで」が25.3%。

○現在就労をしていない母親39.7%のうち、就労したいと回答したのは66.3%。すぐにも就職したい人の希望する就労形態は、パートタイム・アルバイト希望が76.7%で、フルタイム希望23.3%の約3倍。

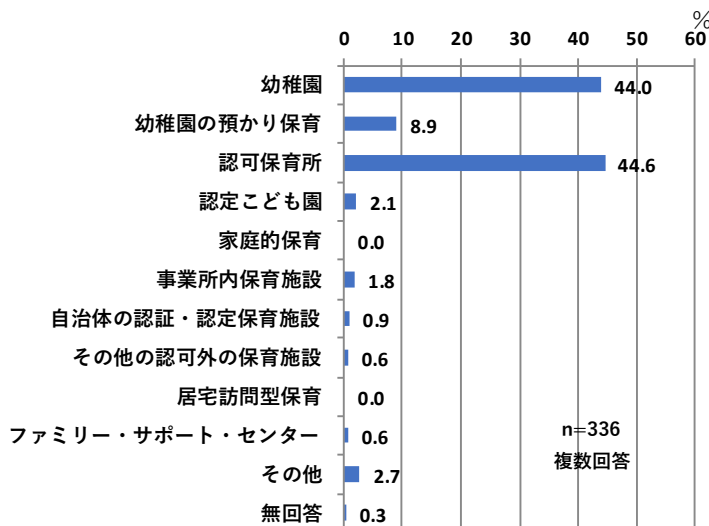
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 あて名のお子さんは現在、幼稚園、保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(〇は1つ)



問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に回答された方にうかがいます。あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答え下さい。(〇はいくつでも)



幼稚園：通常の就園時間の利用
 幼稚園の預かり保育：通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ
 認可保育所：国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの
 認定こども園：幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
 家庭的保育：保育者の家庭等で子どもを少人数で保育する事業
 事業所内保育施設：企業が主に従業員用に運営する施設
 自治体の認証・認定保育施設：認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設
 居宅訪問型保育：ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業
 ファミリー・サポート・センター：地域住民が子どもを預かる事業
 ファミリー・サポート・センター：地域住民が子どもを預かる事業

「日中の定期的な教育・保育の事業」の利用—子どもの年齢別

	合計	問15-1 平日、定期的にご利用している教育・保育事業											
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	336	44.0	8.9	44.6	2.1	0.0	1.8	0.9	0.6	0.0	0.6	2.7	0.3
問2-1 お子さんの年齢	0歳	16	0.0	87.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
	1歳	30	6.7	63.3	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0
	2歳	63	31.7	50.8	1.6	0.0	1.6	1.6	0.0	1.6	0.0	6.3	1.6
	3歳	68	54.4	39.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0
	4歳	73	50.7	42.5	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5歳	80	61.3	32.5	2.5	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0

「日中の定期的な教育・保育の事業」の利用—地域別・就労状況別

	合計	問15-1 平日、定期的に利用している教育・保育事業											
		幼稚園	育 幼稚園 の預かり保	認可 保育所	認定 こども園	家庭 的保育	事業 所内保 育施設	定 自 治 体 の 認 証 ・ 認 定 保 育 施 設	保 育 施 設	そ の 他 の 認 可 外 の 保 育 施 設	居 宅 訪 問 型 保 育	ポ フ ア ミ リ ー ・ セ ン タ ー	そ の 他
全体	336	44.0	8.9	44.6	2.1	0.0	1.8	0.9	0.6	0.0	0.6	2.7	0.3
問1 居住地区	三崎地区	89	37.1	6.7	52.8	2.2	0.0	1.1	1.1	1.1	0.0	2.2	1.1
	南下浦地区	144	48.6	11.1	38.9	2.8	0.0	2.1	0.0	0.7	0.0	2.1	0.0
	初声地区	101	43.6	7.9	45.5	1.0	0.0	2.0	0.0	0.0	1.0	4.0	0.0
	世帯の就労状況	26	26.9	7.7	69.2	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	共稼ぎ（フルタイム）	92	8.7	10.9	79.3	1.1	0.0	4.3	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0
	共稼ぎ（パート）	111	46.8	10.8	43.2	1.8	0.0	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.9
	専業主婦・主夫	92	83.7	4.3	5.4	3.3	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	1.1	7.6
	その他	15	26.7	13.3	40.0	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0

【参考】平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業—地域別・就労状況別

	合計	問16 「定期的に」利用したいと考えている平日の教育・保育の事業													
		幼稚園	育 幼稚園 の預かり保	認可 保育所	認定 こども園	小 規 模 な 保 育 施 設	家 庭 的 保 育	事 業 所 内 保 育 施 設	定 自 治 体 の 認 証 ・ 認 定 保 育 施 設	保 育 施 設	そ の 他 の 認 可 外 の 保 育 施 設	居 宅 訪 問 型 保 育	ポ フ ア ミ リ ー ・ セ ン タ ー	そ の 他	無 回 答
全体	493	59.2	31.6	41.4	26.0	5.7	2.8	5.5	1.8	0.4	6.1	11.4	0.8	1.6	
問1 居住地区	三崎地区	136	50.0	30.1	48.5	30.1	5.9	1.5	5.9	0.7	0.7	5.1	10.3	0.7	1.5
	南下浦地区	209	62.7	33.5	36.4	25.8	5.7	3.3	5.3	1.9	0.5	6.7	11.5	0.0	1.9
	初声地区	146	63.0	30.8	41.8	22.6	5.5	3.4	5.5	2.7	0.0	5.5	11.6	2.1	1.4
	世帯の就労状況	28	28.6	17.9	60.7	35.7	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	10.7	14.3	0.0	3.6
	共稼ぎ（フルタイム）	128	25.8	19.5	66.4	43.8	6.3	2.3	5.5	3.1	0.0	10.9	18.0	1.6	1.6
	共稼ぎ（パート）	127	54.3	34.6	44.1	21.3	5.5	2.4	4.7	1.6	0.0	2.4	9.4	0.8	2.4
	専業主婦・主夫	186	90.3	38.2	21.5	16.1	4.8	3.2	6.5	1.1	0.5	3.8	7.0	0.0	1.1
	その他	24	58.3	45.8	25.0	20.8	12.5	8.3	4.2	4.2	4.2	12.5	16.7	4.2	0.0

○「日中の定期的な教育・保育の事業」の利用は68.2%。そのうち幼稚園利用が44.0%、幼稚園の預かり保育利用が8.9%、認可保育所44.6%、認定こども園2.1%。

○子どもの年齢別にみると、0歳から2歳では「認可保育所」が50.8~87.5%と最も多く、0歳児では「事業所内保育施設」が12.5%、2歳児では「幼稚園」が31.7%となっている。3歳~5歳では、「幼稚園」が50.7~61.3%と最も多く、次いで「認可保育所」が32.5%~42.5%。

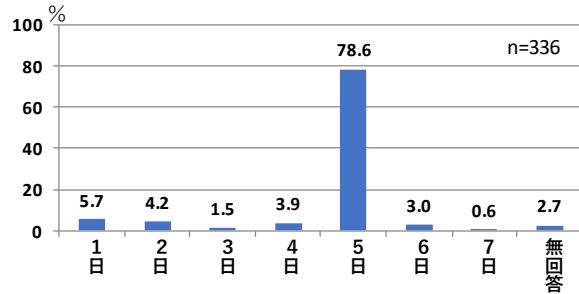
○就労状況別にみると、共稼ぎフルタイム、ひとり親では「認可保育所」がそれぞれ79.3%、69.2%と多く、専業主婦・主夫と共稼ぎパートでは「幼稚園」の利用が83.7%、46.8%と最も多い。

○三崎、初声地区では「認可保育所」が52.8%、45.5%でもっとも多いが、南下浦地区では「幼稚園」が48.6%でもっとも多い。

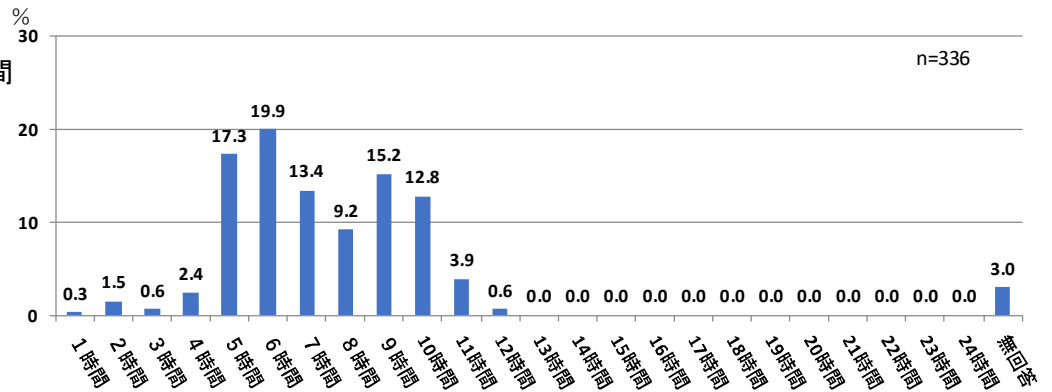
問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。
 また、希望としてはどのくらい利用したいですか（問 15-1 で複数選択した場合は、
 合計を記載してください）。1日あたり何時間（何時から何時まで）、1週あたり何日
 かをお答えください。（数字を記入）時間は、必ず（例）09時～18時のように、24時
 間制で記入してください。

（1）現在

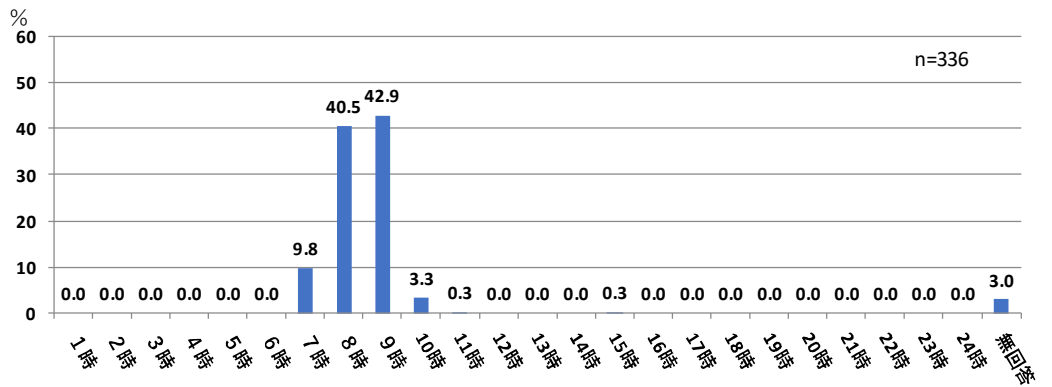
1週あたり何日



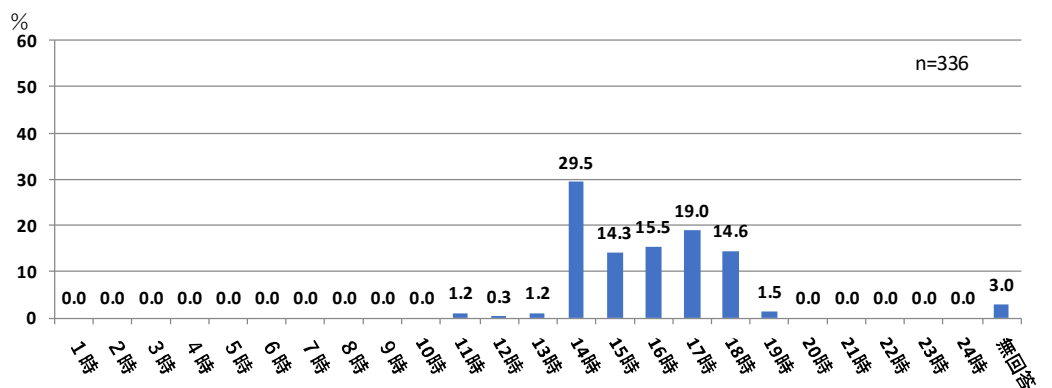
1日あたり何時間



何時から

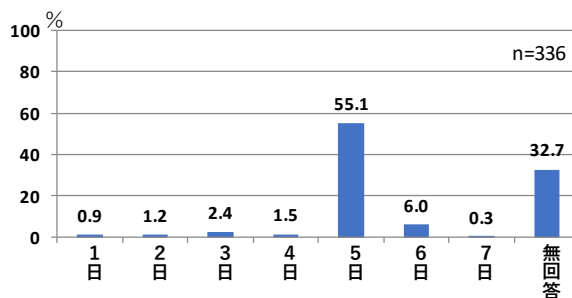


何時まで

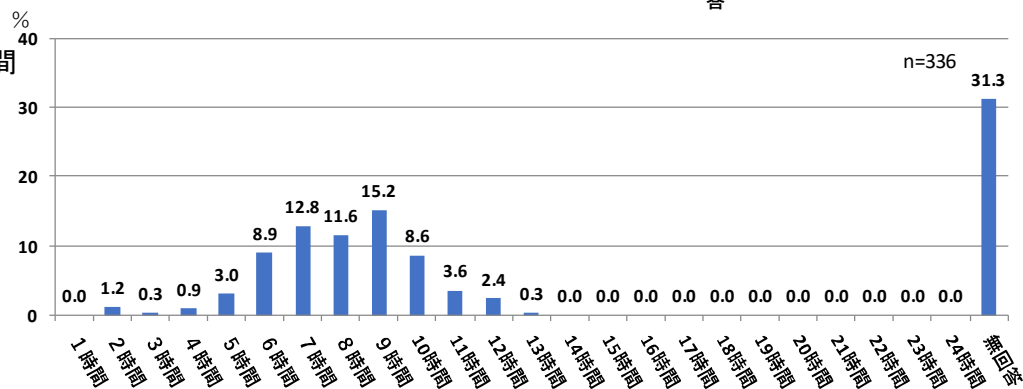


(2) 希望

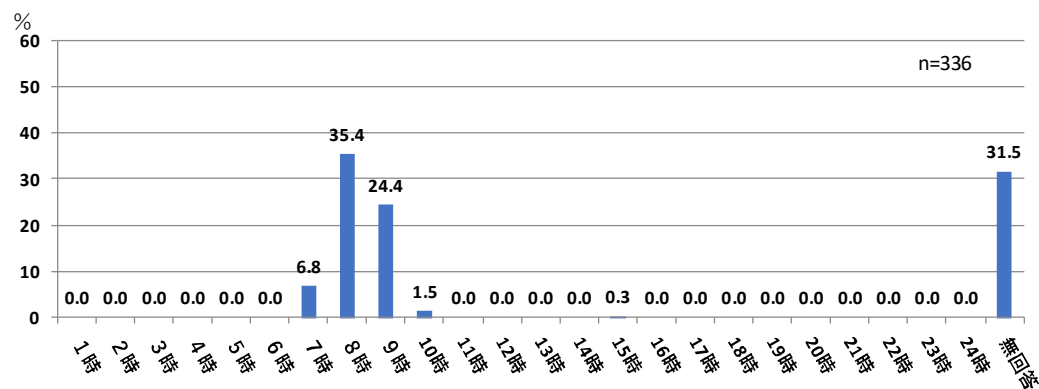
1 週当たり何日



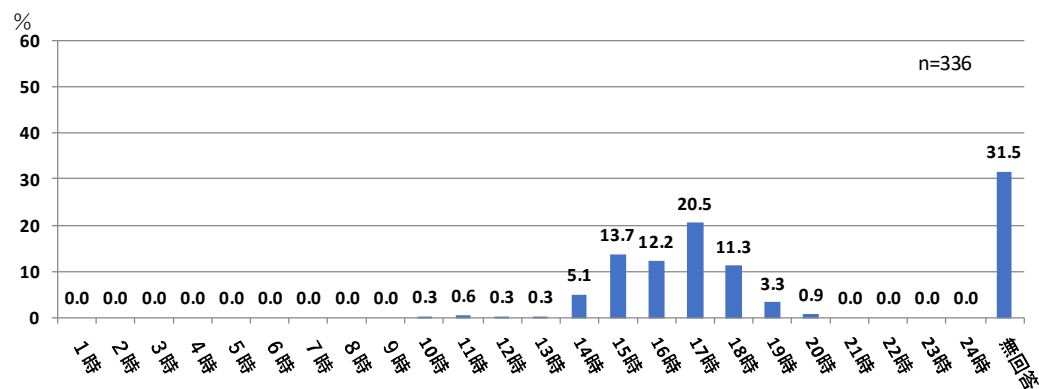
1 日当たり何時間



何時から



何時まで



○ 「日中の定期的な教育・保育の事業」全体

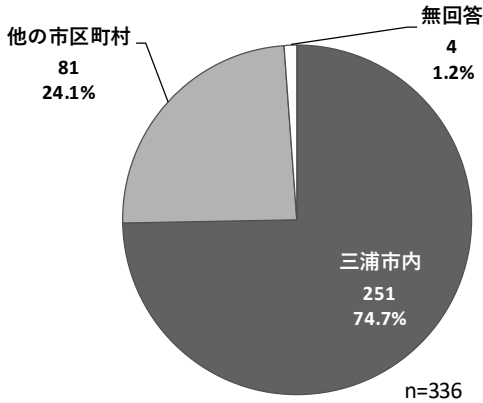
利用日数：現在は週5日利用が78.6%と最も多い。希望も週5日利用が55.1%と最も多くなっている。

利用時間：現在は1日6時間が19.9%、次いで5時間が17.3%だが、希望は9時間が15.2%でもっとも多く、長い傾向にある。

開始時間：現在は9時が最も多く42.9%、次いで8時が40.5%だが、希望は8時が最も多く35.4%、9時が24.4%で、現状より早い傾向にある。

終了時間：現在は14時が最も多く29.5%、次いで17時が19.0%だが、希望は17時が20.5%、次いで15時が13.7%と、現状より遅い傾向にある。

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(〇は1つ)

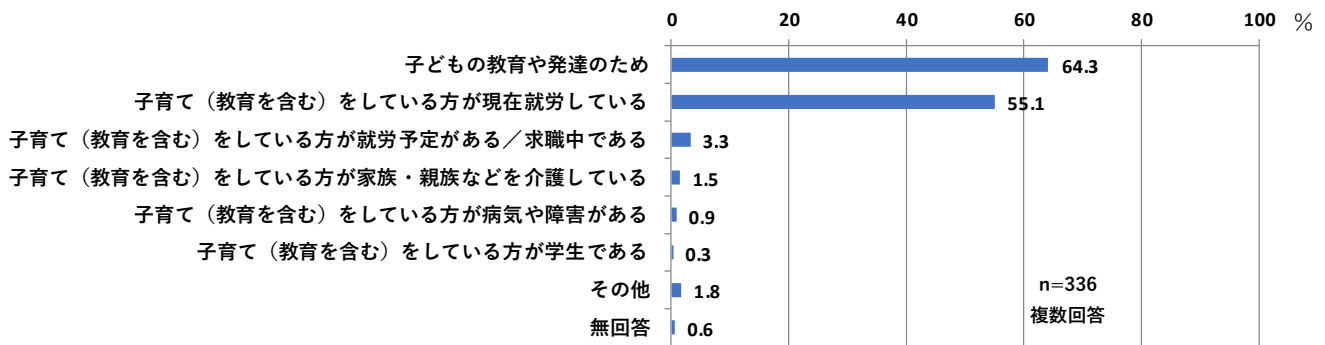


現在、利用している教育・保育事業の実施場所（地域・就労状況別）

	合計	問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所		
		三浦市内	他の市区町村	無回答
全体	336	74.7	24.1	1.2
問1 居住地区				
三崎地区	89	87.6	10.1	2.2
南下浦地区	144	70.1	29.2	0.7
初声地区	101	69.3	29.7	1.0
世帯の就労状況				
ひとり親家庭	26	76.9	19.2	3.8
共稼ぎ（フルタイム）	92	75.0	25.0	0.0
共稼ぎ（パート）	111	78.4	18.9	2.7
専業主婦・主夫	92	69.6	30.4	0.0
その他	15	73.3	26.7	0.0

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。

(〇はいくつでも)



平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由（地域・就労状況別）

	合計	問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由							
		子どもの教育や発達のため	子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している	子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である	子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している	子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある	子育て（教育を含む）をしている方が学生である	その他	無回答
全体	336	64.3	55.1	3.3	1.5	0.9	0.3	1.8	0.6
問1 居住地区									
三崎地区	89	53.9	62.9	1.1	2.2	2.2	1.1	0.0	2.2
南下浦地区	144	68.1	51.4	4.2	1.4	0.7	0.0	2.8	0.0
初声地区	101	68.3	53.5	4.0	1.0	0.0	0.0	2.0	0.0
世帯の就労状況									
ひとり親家庭	26	46.2	76.9	11.5	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0
共稼ぎ（フルタイム）	92	30.4	93.5	1.1	2.2	0.0	0.0	1.1	0.0
共稼ぎ（パート）	111	69.4	61.3	2.7	0.9	0.9	0.0	2.7	1.8
専業主婦・主夫	92	97.8	1.1	4.3	1.1	2.2	0.0	2.2	0.0
その他	15	60.0	66.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0

○「日中の定期的な教育・保育の事業」の実施場所は、三浦市内が74.7%。地域別では三崎地区で三浦市内の割合が高い。

○「利用している理由」は、「子どもの教育や発達のため」が64.3%、「就労しているため」が55.1%。

現状の利用日数×希望の利用日数

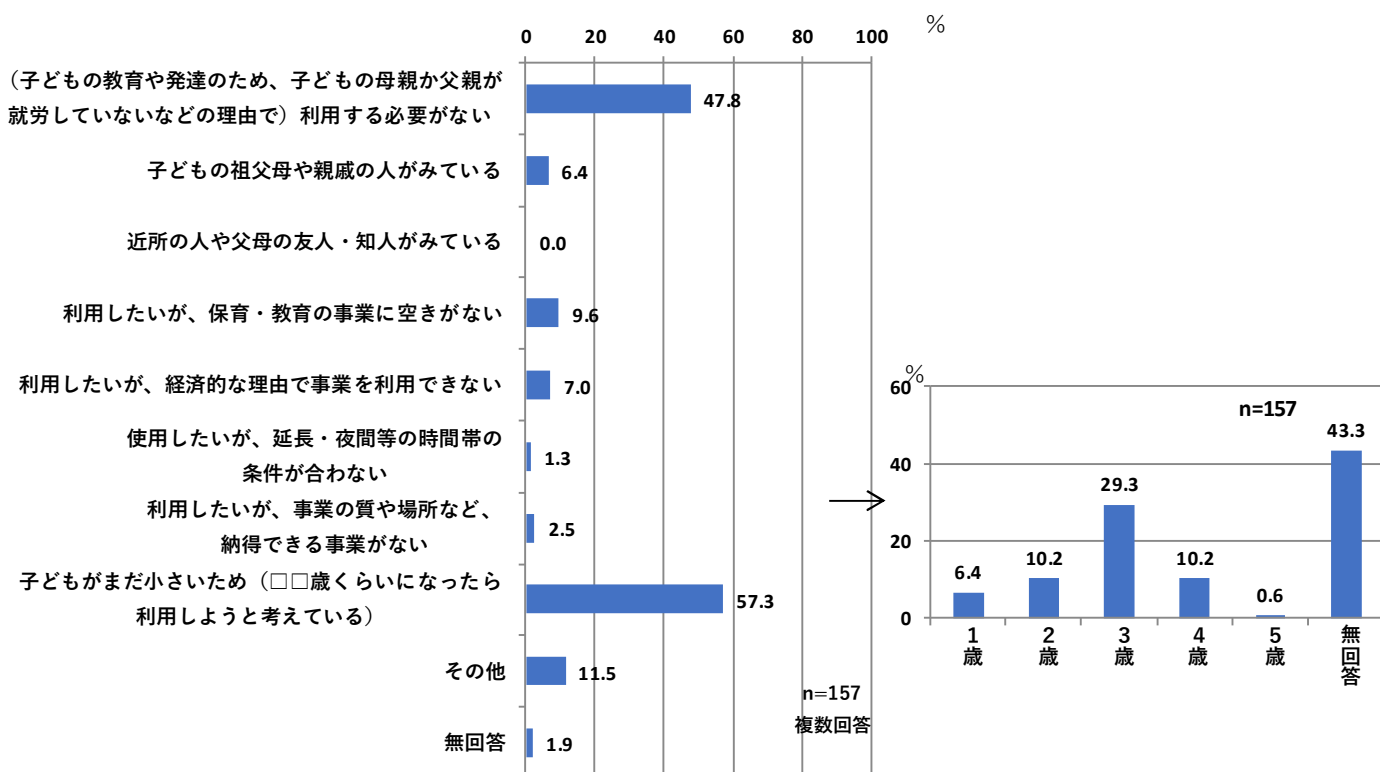
		合計	問15-2 (希望) 教育・保育の利用日数/週							無回答
			1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
全体		336	0.9	1.2	2.4	1.5	55.1	6.0	0.3	32.7
問15-2 (現在) 教育・保育の利用日数/週	1日	19	10.5	21.1	5.3	0.0	10.5	0.0	0.0	52.6
	2日	14	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	42.9
	3日	5	20.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	4日	13	0.0	0.0	0.0	15.4	30.8	7.7	0.0	46.2
	5日	264	0.0	0.0	1.1	0.4	65.2	4.2	0.4	28.8
	6日	10	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	80.0	0.0	10.0
	7日	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無回答	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

「日中の定期的な教育・保育の事業」の利用×平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由

		合計	問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由							無回答
			子どもの教育や発達のため	子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している	子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である	子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している	子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある	子育て(教育を含む)をしている方が学生である	その他	
全体		336	64.3	55.1	3.3	1.5	0.9	0.3	1.8	0.6
問15-1 平日、定期的にご利用している教育・保育事業	幼稚園	148	98.0	14.9	2.7	0.0	0.0	0.0	2.0	1.4
	幼稚園の預かり保育	30	80.0	66.7	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認可保育所	150	30.7	93.3	4.0	2.7	2.0	0.7	2.0	0.0
	認定こども園	7	71.4	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保育施設	6	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自治体の認証・認定保育施設	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の認可外の保育施設	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・センター	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	9	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に回答された方にかがいます。

利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



利用していない理由(子の年齢別)

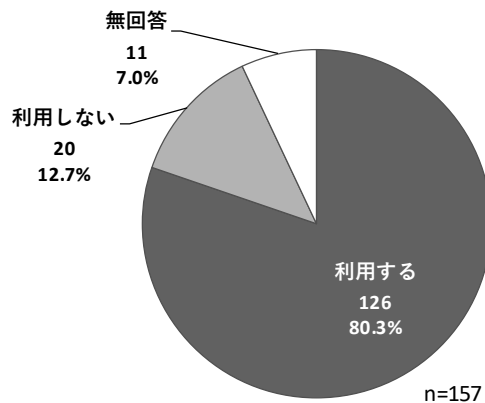
		問15-5 利用していない理由										
		合計	利用する 必要がない	子どもの 祖父母や 親戚の人 がみている	近所の人 や父母の 友人・知 人がみて いる	利用した いが、保 育・教育 の事業に 空きがない	利用した いが、経 済的な理 由で事業 を利用で きない	使用した いが、延 長・夜間 等の時間 帯の条件 が合わない	利用した いが、事 業の質や 場所な ど、納得 できる事 業がない	子どもが まだ小さ いため（ 歳くらし たら利用 しようと 考えてい る）	その他	無回答
全体		157	47.8	6.4	0.0	9.6	7.0	1.3	2.5	57.3	11.5	1.9
問2-1 お子さんの年齢	0歳	92	44.6	5.4	0.0	10.9	3.3	2.2	1.1	55.4	9.8	2.2
	1歳	45	55.6	4.4	0.0	8.9	8.9	0.0	4.4	66.7	15.6	0.0
	2歳	16	50.0	12.5	0.0	6.3	25.0	0.0	0.0	56.3	0.0	0.0
	3歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
	4歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

利用していない理由(配偶関係・世帯の年収・就労状況別)

		問15-5 利用していない理由										
		合計	利用する 必要がない	子どもの 祖父母や 親戚の人 がみている	近所の人 や父母の 友人・知 人がみて いる	利用した いが、保 育・教育 の事業に 空きがない	利用した いが、経 済的な理 由で事業 を利用で きない	使用した いが、延 長・夜間 等の時間 帯の条件 が合わない	利用した いが、事 業の質や 場所な ど、納得 できる事 業がない	子どもが まだ小さ いため（ 歳くらし たら利用 しようと 考えてい る）	その他	無回答
全体		157	47.8	6.4	0.0	9.6	7.0	1.3	2.5	57.3	11.5	1.9
問5 配偶者の有無	配偶者がいる	154	48.1	6.5	0.0	8.4	6.5	1.3	2.6	58.4	11.7	1.9
	配偶者がいない	3	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問39 世帯の年収	～200万円	8	62.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0
	200～300万円	20	35.0	5.0	0.0	10.0	15.0	5.0	0.0	55.0	15.0	5.0
	300～400万円	30	50.0	10.0	0.0	13.3	10.0	0.0	3.3	66.7	10.0	3.3
	400～500万円	28	57.1	7.1	0.0	3.6	7.1	3.6	0.0	46.4	3.6	3.6
	500～700万円	32	40.6	6.3	0.0	9.4	3.1	0.0	0.0	56.3	6.3	0.0
	700～1,000万円	22	45.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	50.0	22.7	0.0
	1,000万円以上	6	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0
世帯の就労状況	ひとり親家庭	2	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	共稼ぎ（フルタイム）	36	36.1	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0	2.8	44.4	25.0	5.6
	共稼ぎ（パート）	16	18.8	12.5	0.0	12.5	18.8	12.5	6.3	56.3	6.3	0.0
	専業主婦・主夫	94	57.4	5.3	0.0	7.4	7.4	0.0	2.1	61.7	7.4	1.1
	その他	9	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	11.1	0.0

○「利用していない理由」は、「子どもが小さいため」57.3%と「理由する必要がない」47.8%が多い。また、「子どもが小さいため」と回答した人の29.3%は、子どもが3歳になったら利用を考えるとしている。

問 15-6 問 15 で「2. 利用していない」に回答された方にかがいます。幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、教育・保育の事業を利用しますか。(〇は1つ)



問 15-7 問 15-6 で「1. 利用する」に回答された方にかがいます。幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、平日、定期的にどのような教育・保育の事業を希望しますか。(〇はいくつでも)

